

江戸バス利用者実態

<目次>

- I 江戸バスの利用実態 1
 - I-1. 北循環・南循環別の利用客数の状況 1
 - I-2. 北循環・南循環別曜日別の利用客数の状況 1
 - I-3. 平成 22 年度運行事業補助金額 1
- II 利用実態調査の概要 2
 - II-1. 調査目的 2
 - II-2. 調査概要 2
 - II-3. 配布実績 2
 - II-4. 回収数・回収率 2
- III 利用実態調査結果 3
 - III-1. 利用客数調査結果 3
 - ① バス停別利用客数【北循環】 3
 - ② バス停別利用客数【南循環】 5
 - ③ 時間帯別 1 台あたりの平均利用客数【北循環】 7
 - ④ 時間帯別 1 台あたりの平均利用客数【南循環】 9
 - III-2. アンケート調査結果 11
 - ① 利用者の方の属性 11
 - ② 利用実態 11
 - ③ 運行仕様・運行環境等に対する満足度及び重要度 12
 - ④ 江戸バス導入時の基本方針の達成度 13
 - ⑤ 江戸バスを知ったきっかけ 14
 - ⑥ 今後の利用意向 14
 - ⑦ 江戸バスを運行して欲しい地区 14

I 江戸バスの利用実態

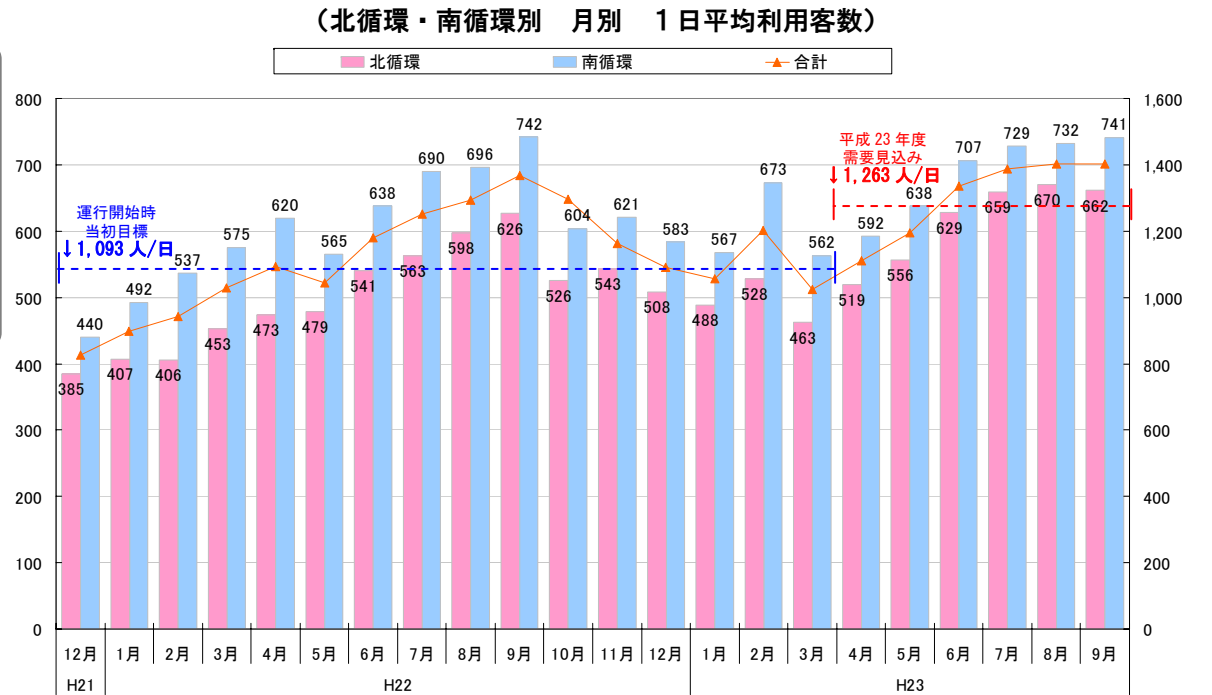
I-1. 北循環・南循環別の利用客数の状況

➤ 平成21年12月の運行開始から平成23年9月までの利用実績をみる。

- ・平成21年12月から平成22年9月までと、平成22年12月から平成23年9月までの1日平均利用客数を比較すると、南北合計で127人/日増加（北循環75人/日増加、南循環52人/日増加）している。
- ・北循環・南循環ともに夏季に利用客数が増加する傾向があり、平成23年1月の利用客数が1,055人/日に対して、9月の利用客数は1,403人/日と約1.3倍となっている。夏季の利用客数については、平成23年度の需要見込みである1,263人/日を上回っている。
- ・北循環と南循環を比較すると、月別の利用客数の傾向に大きな違いはない。

月	利用客数			1日平均利用客数		
	北循環	南循環	合計	北循環	南循環	合計
H21 12月	11,936	13,635	25,571	385	440	825
H22	1月	12,628	15,237	407	492	899
	2月	11,362	15,031	406	537	943
	3月	14,043	17,832	453	575	1,028
	4月	14,193	18,601	473	620	1,093
	5月	14,842	17,511	479	565	1,044
	6月	16,215	19,154	541	639	1,179
	7月	17,440	21,376	563	690	1,252
	8月	18,526	21,563	598	696	1,293
	9月	18,794	22,254	626	742	1,368
	10月	16,293	18,711	526	604	1,296
	11月	16,276	18,626	543	621	1,163

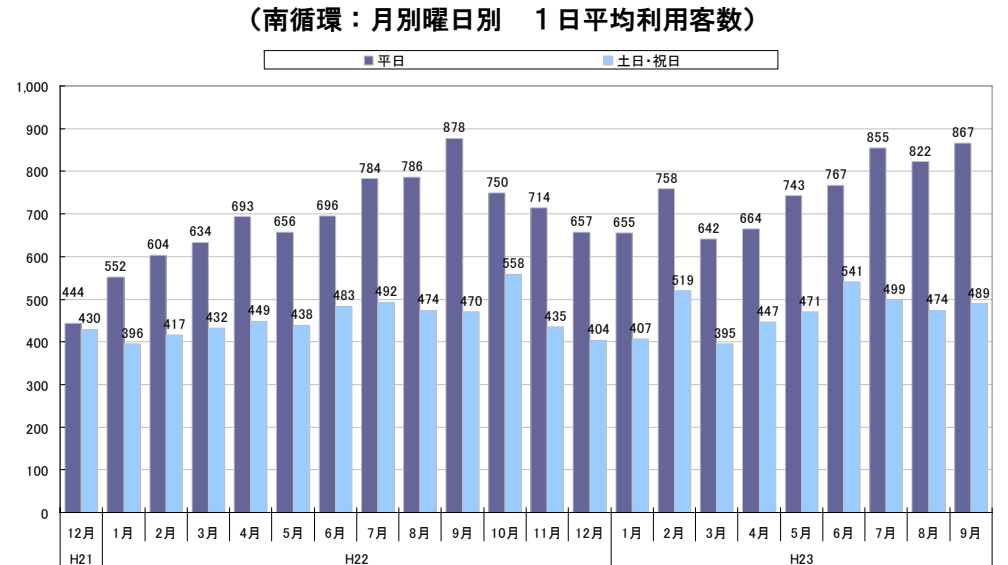
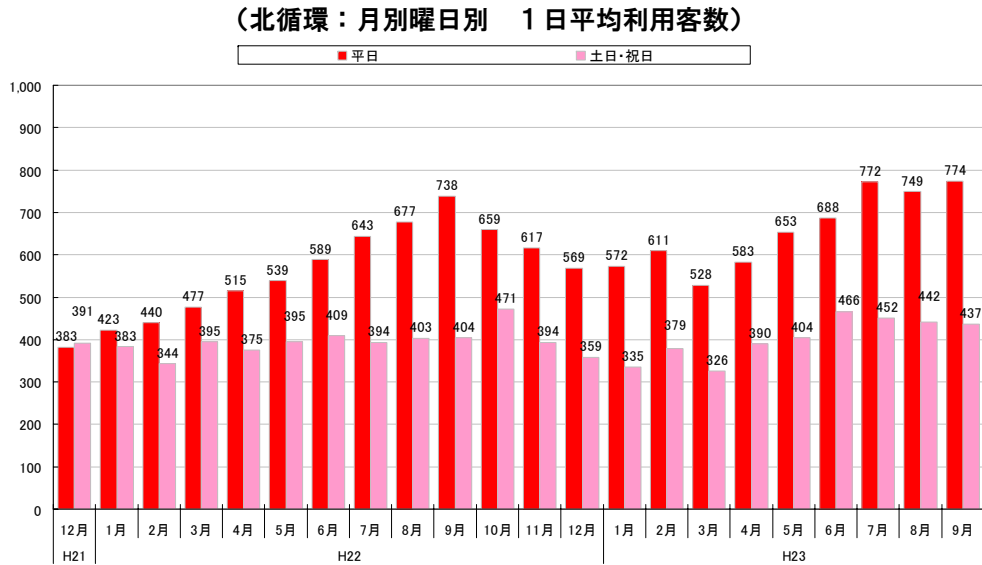
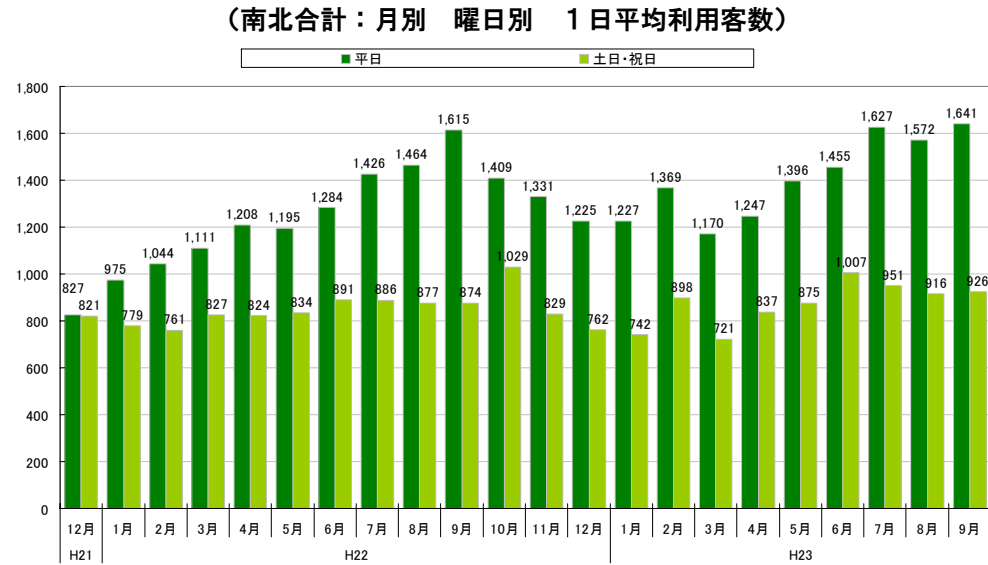
月	利用客数			1日平均利用客数		
	北循環	南循環	合計	北循環 (前年度月比)	南循環 (前年度月比)	合計 (前年度月比)
H22 12月	15,736	18,075	33,811	508 (132%)	583 (133%)	1,091 (132%)
H23	1月	15,131	17,583	488 (120%)	567 (115%)	1,055 (117%)
	2月	14,779	18,846	528 (130%)	673 (125%)	1,201 (127%)
	3月	14,347	17,422	463 (102%)	562 (98%)	1,025 (100%)
	4月	15,564	17,759	519 (110%)	592 (95%)	1,111 (102%)
	5月	17,251	19,769	556 (116%)	638 (113%)	1,194 (114%)
	6月	18,860	21,196	629 (116%)	707 (111%)	1,335 (113%)
	7月	20,417	22,591	659 (117%)	729 (106%)	1,387 (111%)
	8月	20,768	22,706	670 (112%)	732 (105%)	1,402 (108%)
	9月	19,847	22,228	662 (106%)	741 (100%)	1,403 (103%)



I-2. 北循環・南循環別曜日別の利用客数の状況

➤ 北循環・南循環別、平日・土日祝日別の1日平均利用客数をみる。

- ・平成21年12月から平成22年9月までと、平成22年12月から平成23年9月までの1日平均利用客数を比較する。平日では南北合計で174人/日増加（北循環104人/日増加、南循環70人/日増加）しており、また、土日・祝日では、南北合計で35人/日増加（北循環16人/日増加、南循環19人/日）している。月別でみると、冬季の平日の利用客数が大きく増加している。
- ・平日は夏季の利用客数が多いのに対して、土日・祝日は年間を通して大きな変化がない。
- ・北循環と南循環を比較すると、月別の傾向に大きな違いはみられない。



I-3. 平成22年度運行事業補助金額

➤ 平成22年度の運行事業補助金額の状況を見る。

- ・平成22年度運行事業補助金額は、当初見込額と比較して、収入が約2,900千円多く、支出が約47,000千円少なかったため、全体で約7,600千円削減できた。

(平成22年度運行事業補助金額内訳)

項 目	(単位：千円)		
	実績額 (a)	当初見込額 (b)	増減額 (a)-(b)
収入	53,011	50,073	2,938
支出	139,311	143,998	△ 4,687
補助金額 (支出 - 収入)	86,300	93,925	△ 7,625

// 利用実態調査の概要

II-1. 調査目的

利用者のニーズにあった、利用しやすく愛着を持って頂けるコミュニティバスとするため、江戸バス利用者を対象に、『江戸バスの利用実態』『これからも継続的に利用して頂くため、更に利用する機会を増やして頂くために必要な課題や改善点』『運行ルートの改善要望』を把握する。

II-2. 調査概要

①調査日

実施日：平成23年9月9日（金）～平成23年9月11日（日）（平日1日、休日2日）

調査時間：9月9日（金） 6：58～19：48

9月10日（土） 6：58～19：48

9月11日（日） 7：58～19：48

②調査対象路線

北循環、南循環の2路線（平日36本／日×2路線、休日33本／日×2路線）

③主な調査内容

【利用客数調査】

- ・系統別、運行別に停留所毎の利用客数を乗車、降車別にカウントする。

【アンケート調査】

- ・利用区間別、停留所別に、利用実態（利用者の属性・利用目的等）を把握する。
- ・あわせて、現在の運行仕様や基本方針に対する評価、新しい運行ルートに対する要望等の意向を調査する。

<調査方法>

- ・調査員1名が各車両に乗り込み、運行車内でカウント及びアンケート票を配布する。回収は郵送回収にて行う。
- ・調査期間中に複数回利用した方は、初めの1回目のみ受け取っていただき、利用実態については、調査日3日間のそれぞれの利用状況を記入していただく。

II-3. 配布実績

①利用客数実績

- ・調査期間中の利用客数は以下のとおり。
- ・9月9日（金）は1,800人弱の方が利用しているが、9月10日（土）、11日（日）は1,000人強となっている。

	9月9日（金）	9月10日（土）	9月11日（日）	合計
北循環	842	513	525	1,880
南循環	910	623	527	2,060
合計	1,752	1,136	1,052	3,940

②アンケート配布実績

- ・アンケート配布数は、3日間で2,800票程度であり、配布率は70%程度であった。

	9月9日（金）	9月10日（土）	9月11日（日）	合計
北循環	699	355	331	1,385
南循環	719	425	312	1,456
合計	1,418	780	643	2,841

II-4. 回収数・回収率

- ・アンケートの回収状況は、10月3日までで1,097票であり、回収率は38.6%である。

配布数 （3日間計）	2,841票
回収数 （10月3日まで）	1,097票
回収率	38.60%

Ⅲ 利用実態調査結果

Ⅲ-1. 利用客数調査結果

① バス停別利用客数【北循環】

【平日】

- ・平日は、「中央区役所」「新富二丁目」「東京駅八重洲北口」での乗客数が他のバス停に比べると多い。
- ・降客数では、「東京駅八重洲北口」と「中央区役所」で100人以上となっている。

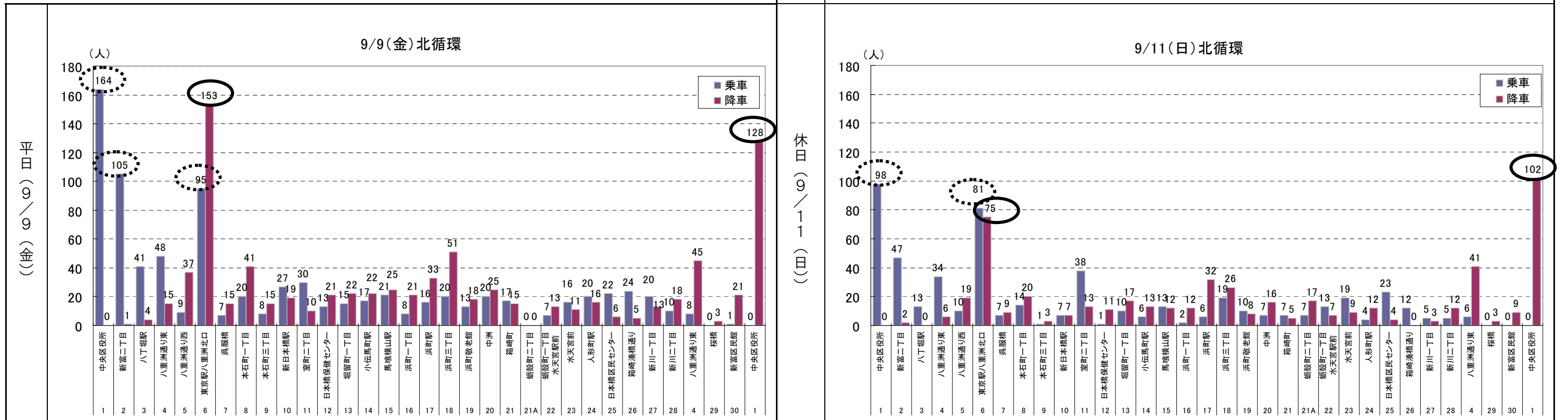
【休日】

- ・休日の乗客数は、「中央区役所」「東京駅八重洲北口」で多く、降客数は、「東京駅八重洲北口」「中央区役所」が多い。

【平日と休日の比較】

- ・乗客数、降客数ともに平日、休日の傾向が類似している。
- ・休日では、「新富二丁目」からの乗客数が平日に比べて少なくなっており、一方、「室町二丁目」での乗客数は他のバス停に比べると多い。

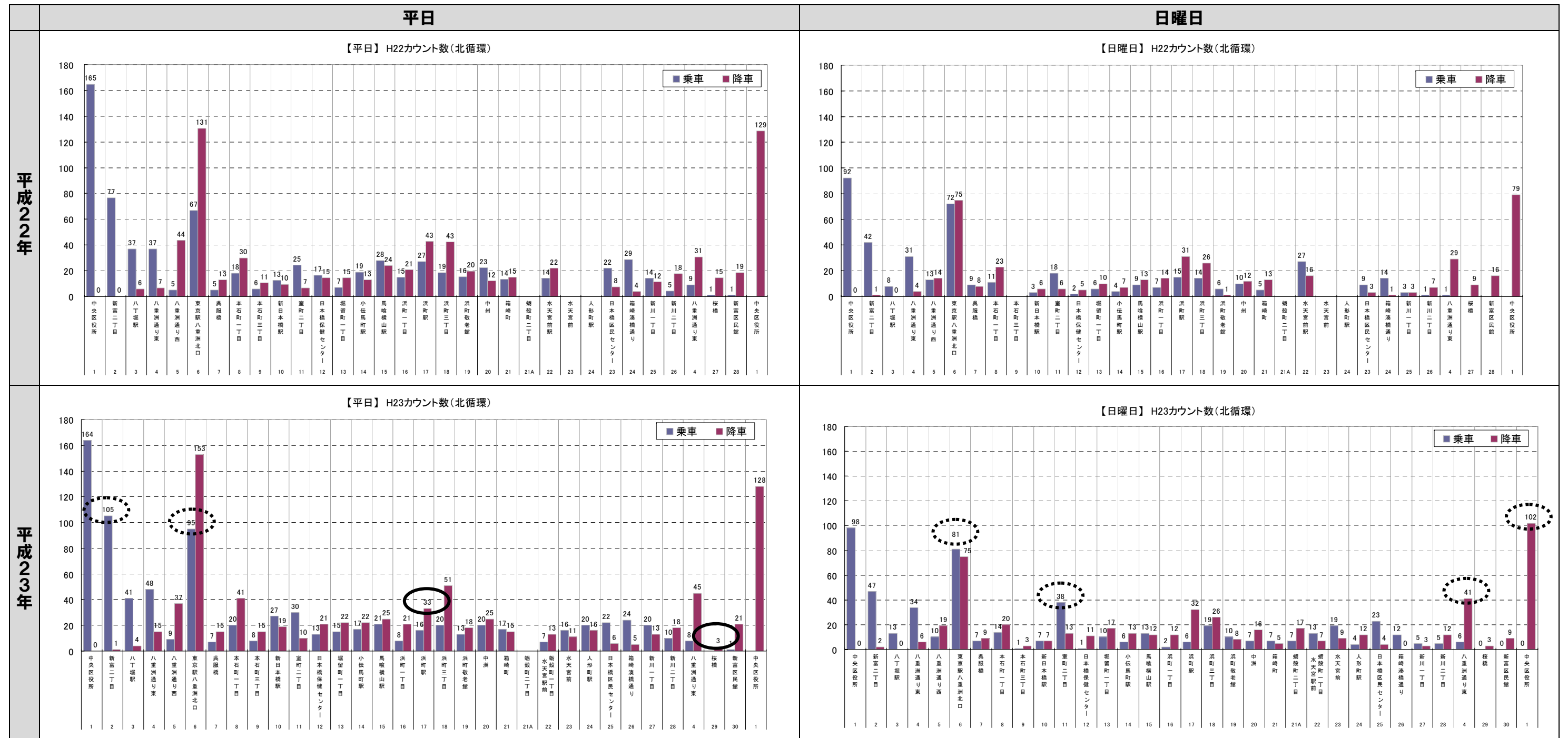
●：乗客数が多いバス停
○：降客数が多いバス停



○平成22年・平成23年調査時の平日・日曜日のバス停別乗降客数の比較【北循環】

- ・平成22年度のカウント調査時と、今年度の調査時の北循環の平日・日曜日のバス停別乗降客数を比較する。
- ・平日では、「新富二丁目」、「東京駅八重洲北口」での乗客数が30人程度増加している一方で、「浜町駅」、「桜橋」では10人程度減少している。
- ・日曜日は、「東京駅八重洲北口」、「室町二丁目」での乗客数、「八重洲通り東」、「中央区役所」での降客数がそれぞれ10人程度増加している。

：乗降客数が増加したバス停
：乗降客数が減少したバス停



※平成22年の平日のカウント数は調査日2日間の平均

② バス停別利用客数【南循環】

【平日】

- ・乗客数をみると、「中央区役所」が特に多く 100 人以上であり、その他、「聖路加国際病院」「新島橋南」でも多くなっている。
- ・降客数では、「聖路加国際病院」「中央区役所」が特に多い。

【休日】

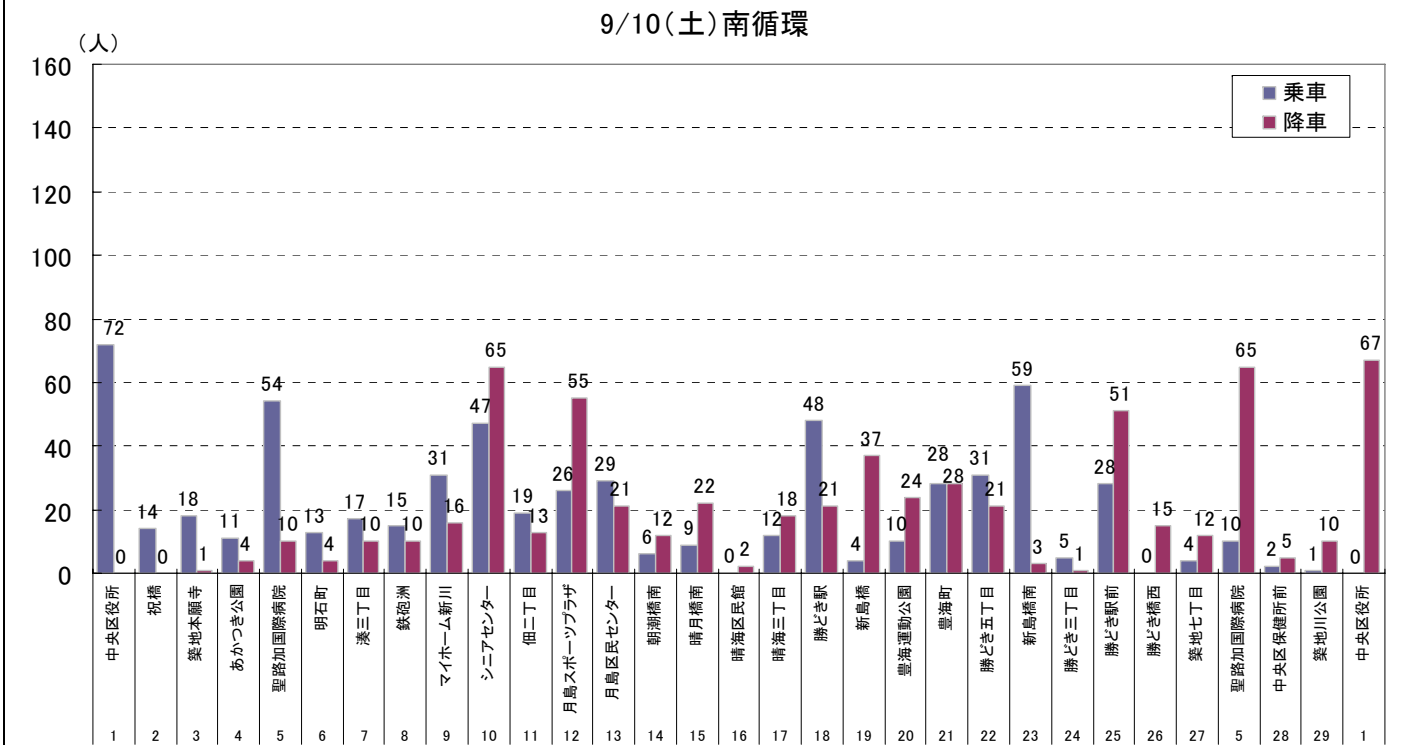
- ・休日は、他に比べて特に利用客数が多い箇所が少なく、50 人程度のバス停と 10 人程度のバス停とに分かれている。

【平日と休日の比較】

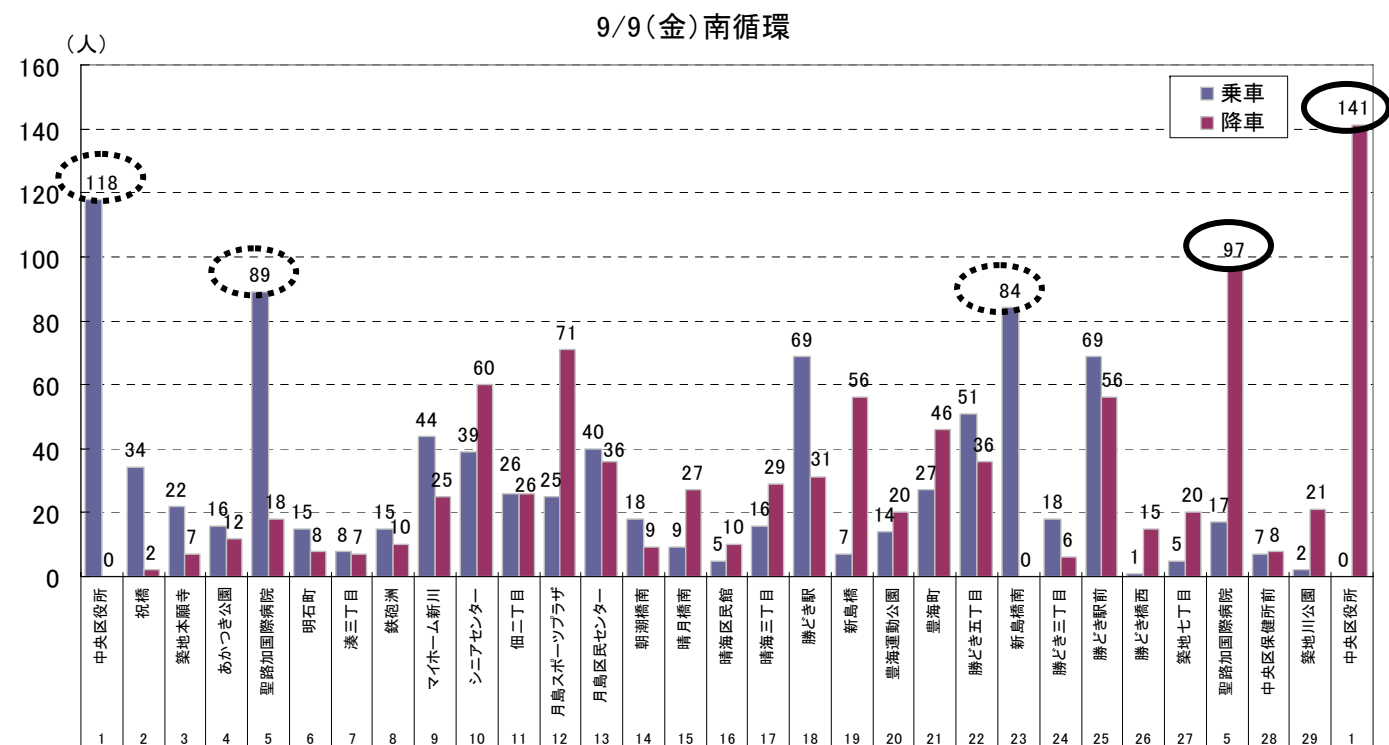
- ・平日に比べると、休日は利用客数が特に多いバス停がなく、平準化されている。特に 9/10（土）については、中央区役所での乗降客数が他の調査日に比べて少ない。

○：乗客数が多いバス停
○：降客数が多いバス停

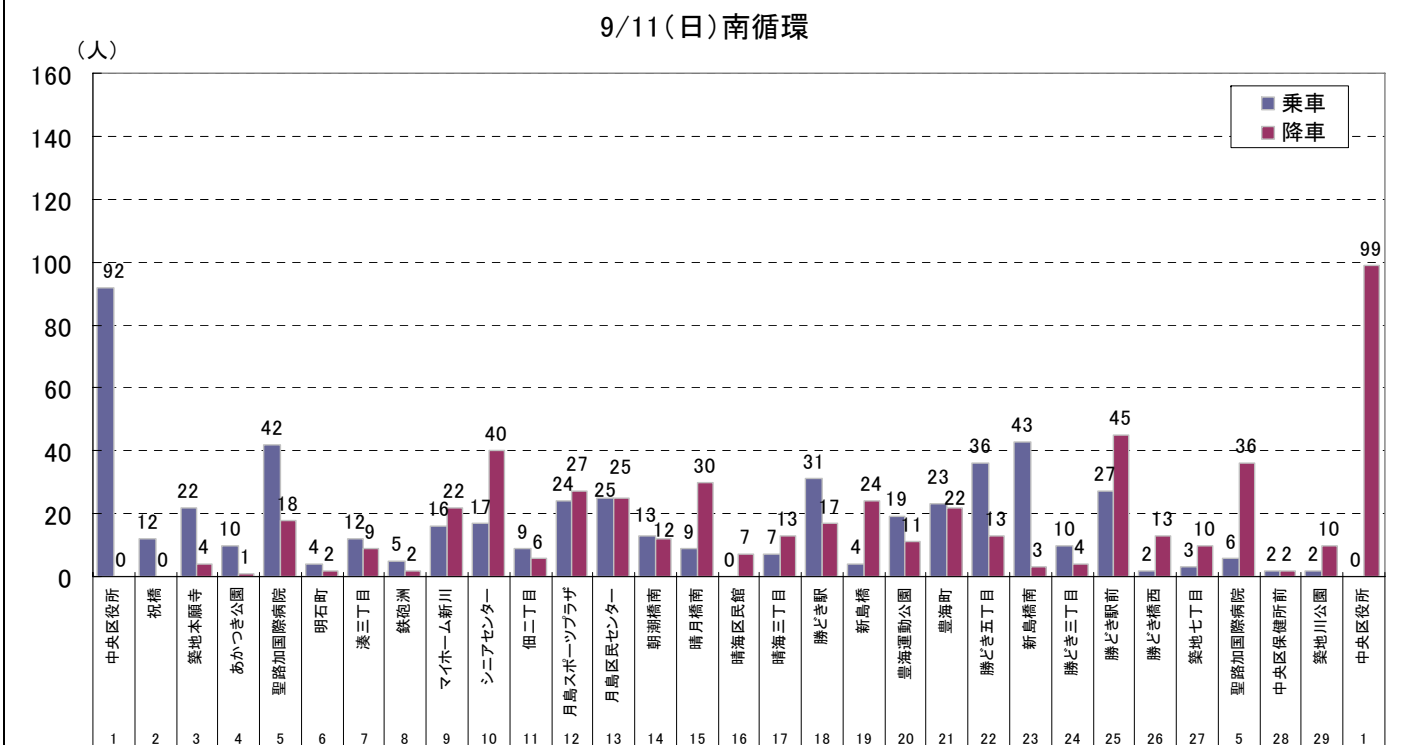
休日（9/10）（土）



平日（9/9）（金）



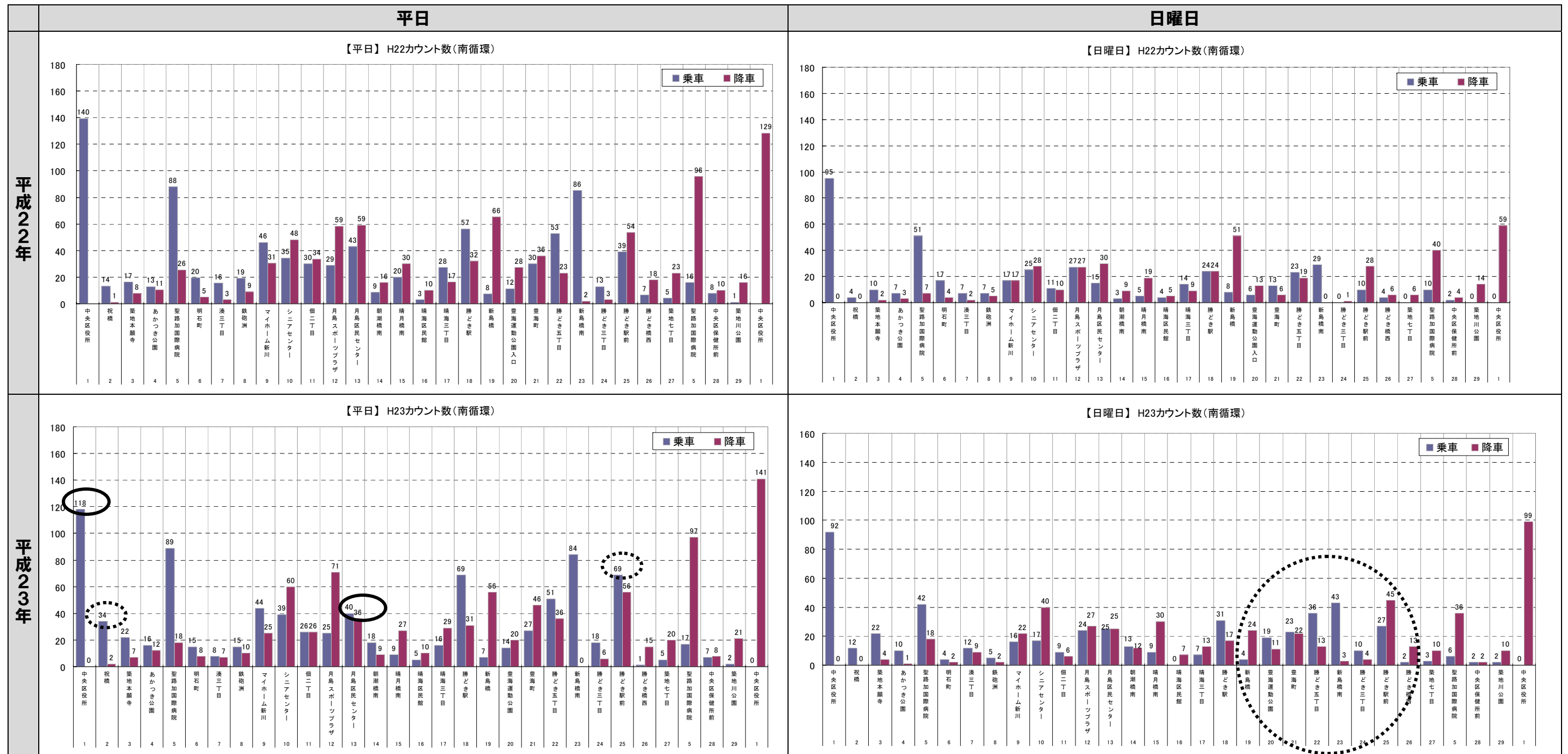
休日（9/11）（日）



○平成 22 年・平成 23 年調査時の平日・日曜日のバス停別乗降客数の比較【南循環】

- ・平成 22 年度のカウント調査時と、今年度の調査時の南循環の平日・日曜日のバス停別乗降客数を比較する。
- ・平日では、「祝橋」や「勝どき駅前」で乗客数が 20 人以上増えている一方で、「中央区役所」の乗客数や「月島区民センター」の降客数は減少している。
- ・日曜日は、豊海～勝どき周辺で、乗降者数が増加しているバス停が多い。

 : 乗降客数が増加したバス停
 : 乗降客数が減少したバス停



※平成 22 年の平日のカウント数は調査日 2 日間の平均

③ 時間帯別 1 台あたりの平均利用客数【北循環】

【平日】

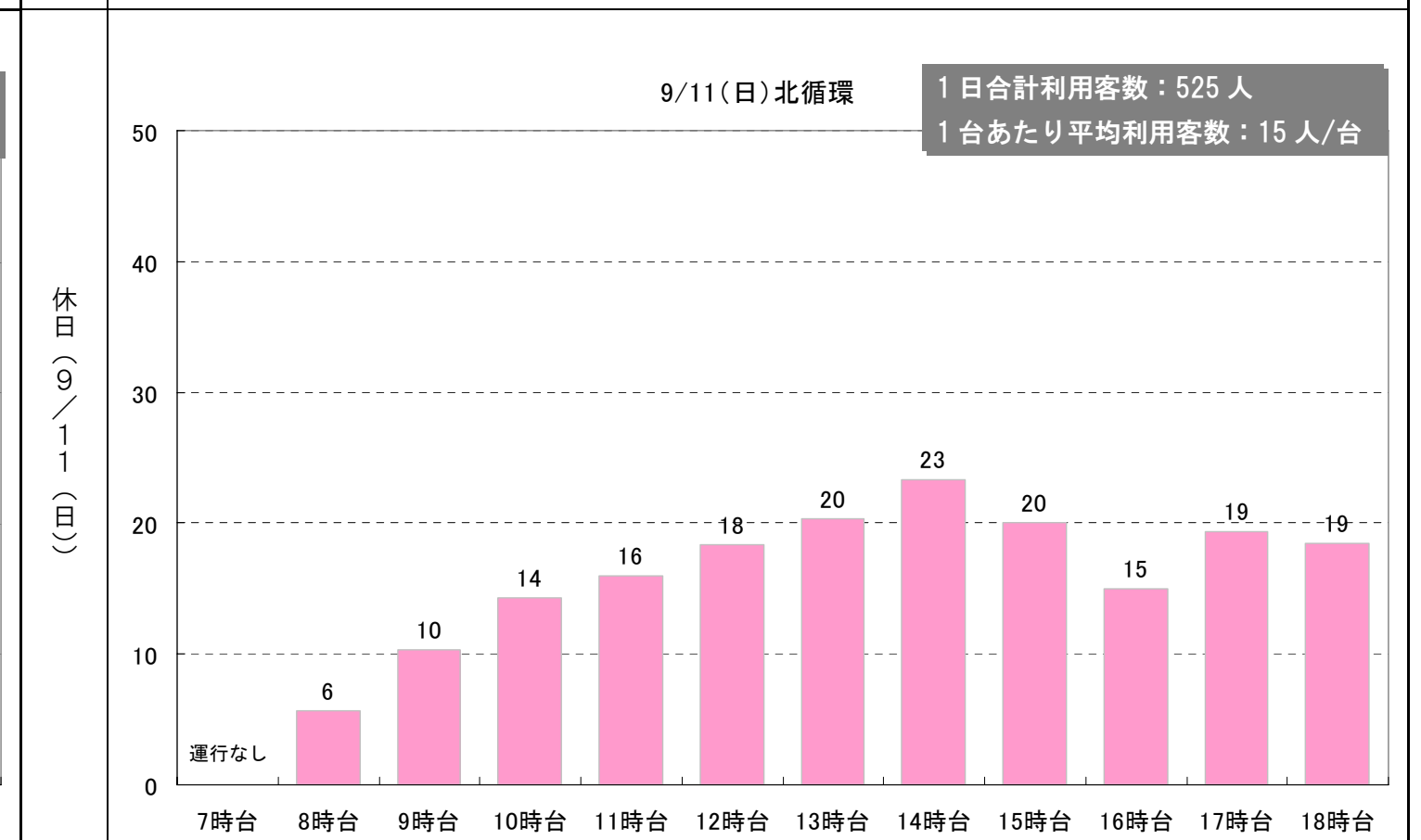
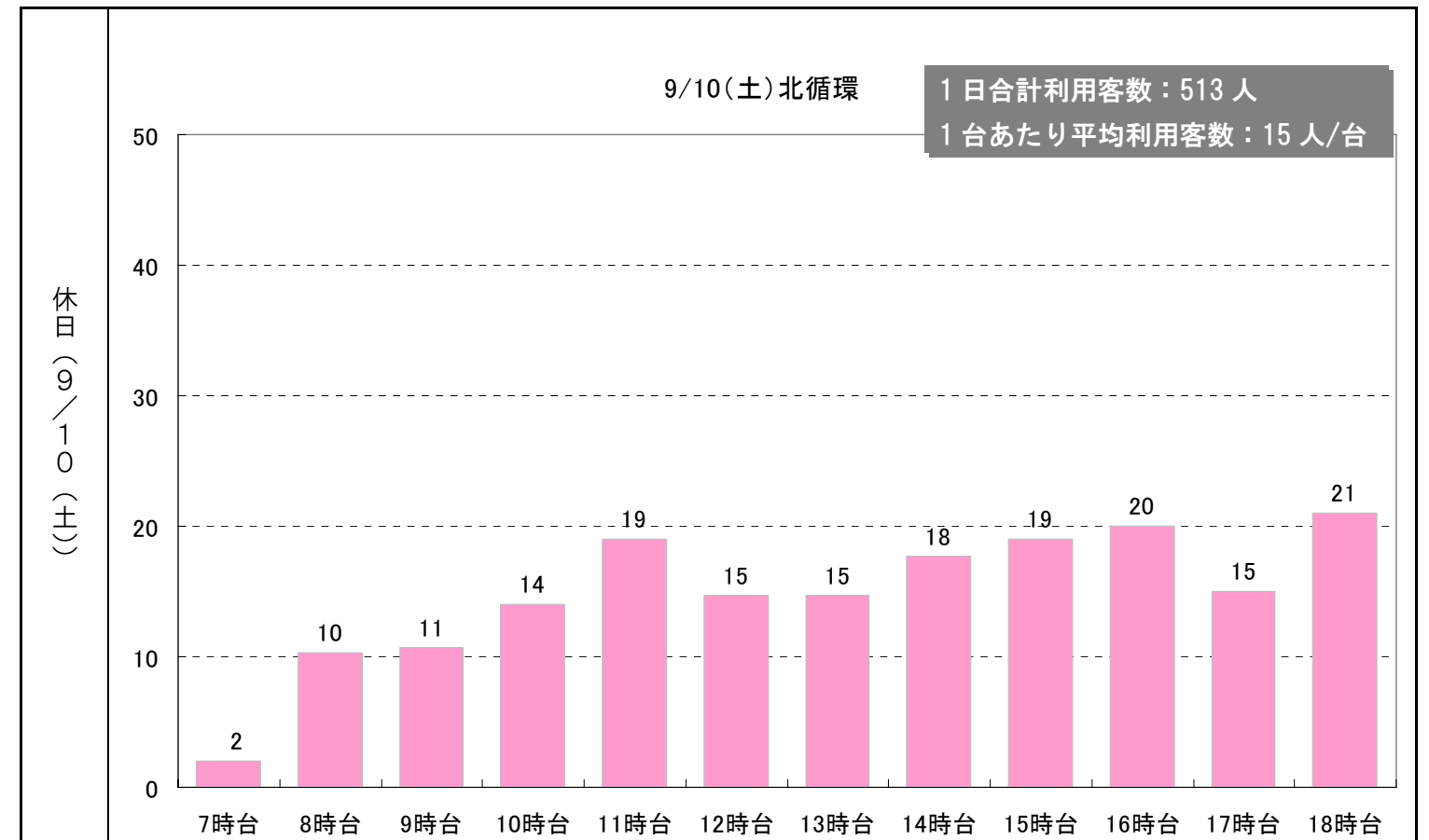
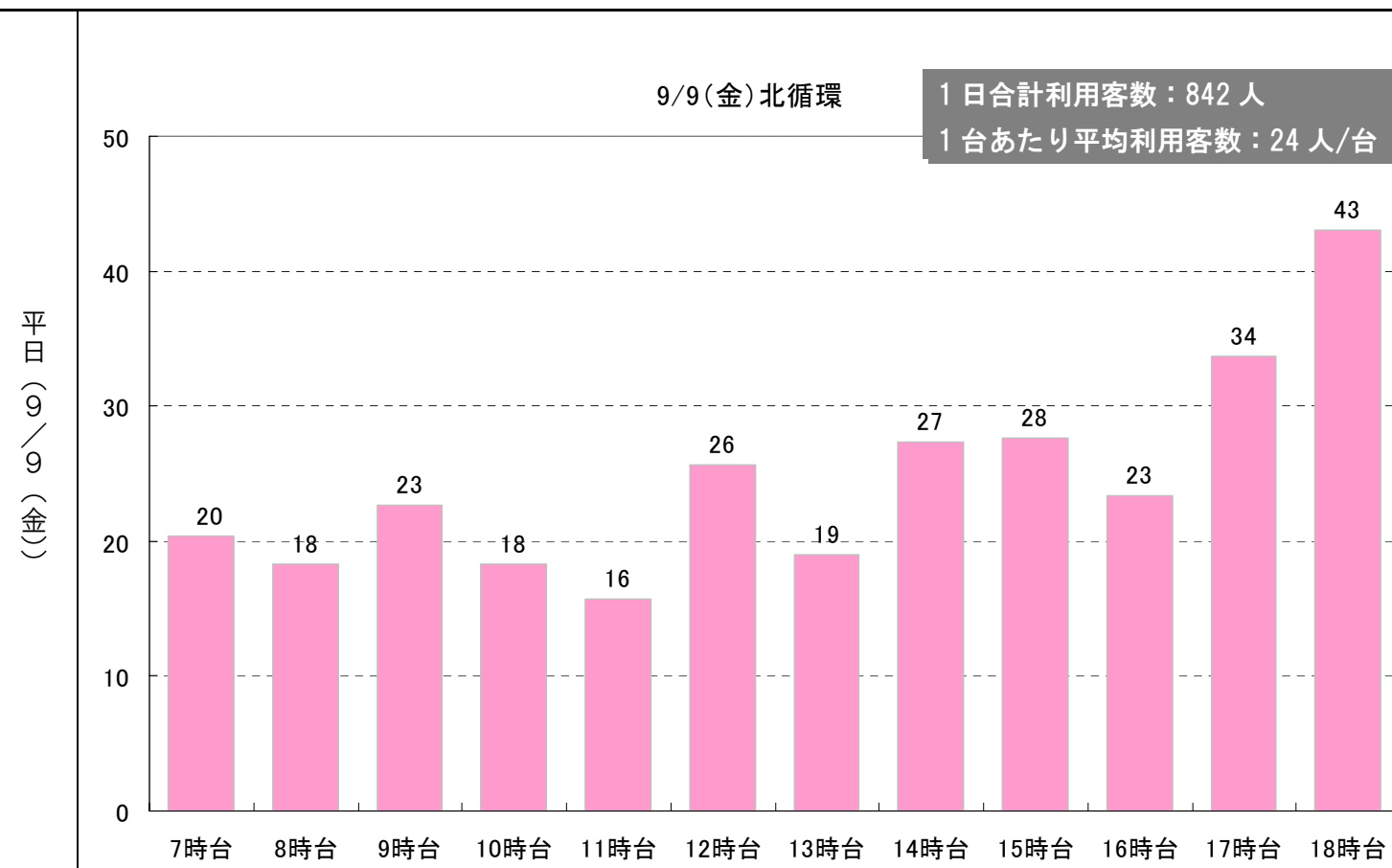
- ・平日の 1 台あたりの平均利用客数は、16 時台まで 20 人/台前後と大きな変化はないが、17 時台、18 時台は増加しており、18 時台には 43 人/台となっている。

【休日】

- ・土曜日は 7 時台、日曜日は 8 時台と朝の利用客数が少ないが、その後は徐々に増加し、午後は 20 人/台前後で推移している。

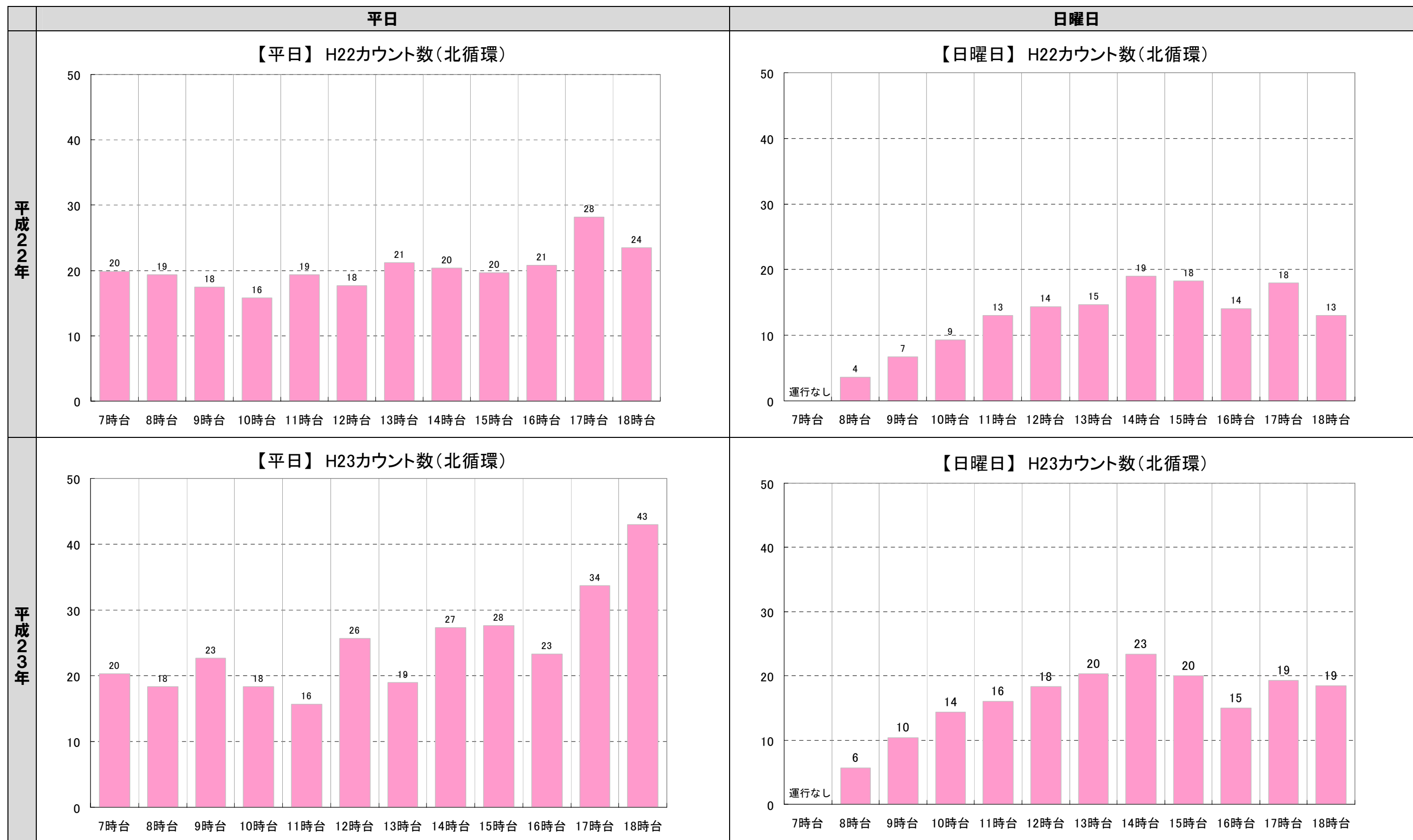
【平日と休日の比較】

- ・平日と休日を比較すると、平日は夕方まで徐々に利用客数が増えているのに対して、休日の午後は 20 人/台前後と大きな増減はない。



○平成22年・平成23年調査時の平日・日曜日の時間帯別利用客数の比較【北循環】

- ・平成22年度のカウント調査時と、今年度の調査時の北循環の平日・日曜日の時間帯別利用客数を比較する。
- ・平日では、平成22年調査時に比べて17時台、18時台の利用客数が増加している。
- ・日曜日は、平成22年調査時と時間帯別の利用客数に大きな違いはない。



※平成22年の平日のカウント数は調査日2日間の平均

④ 時間帯別 1 台あたりの平均利用客数【南循環】

【平日】

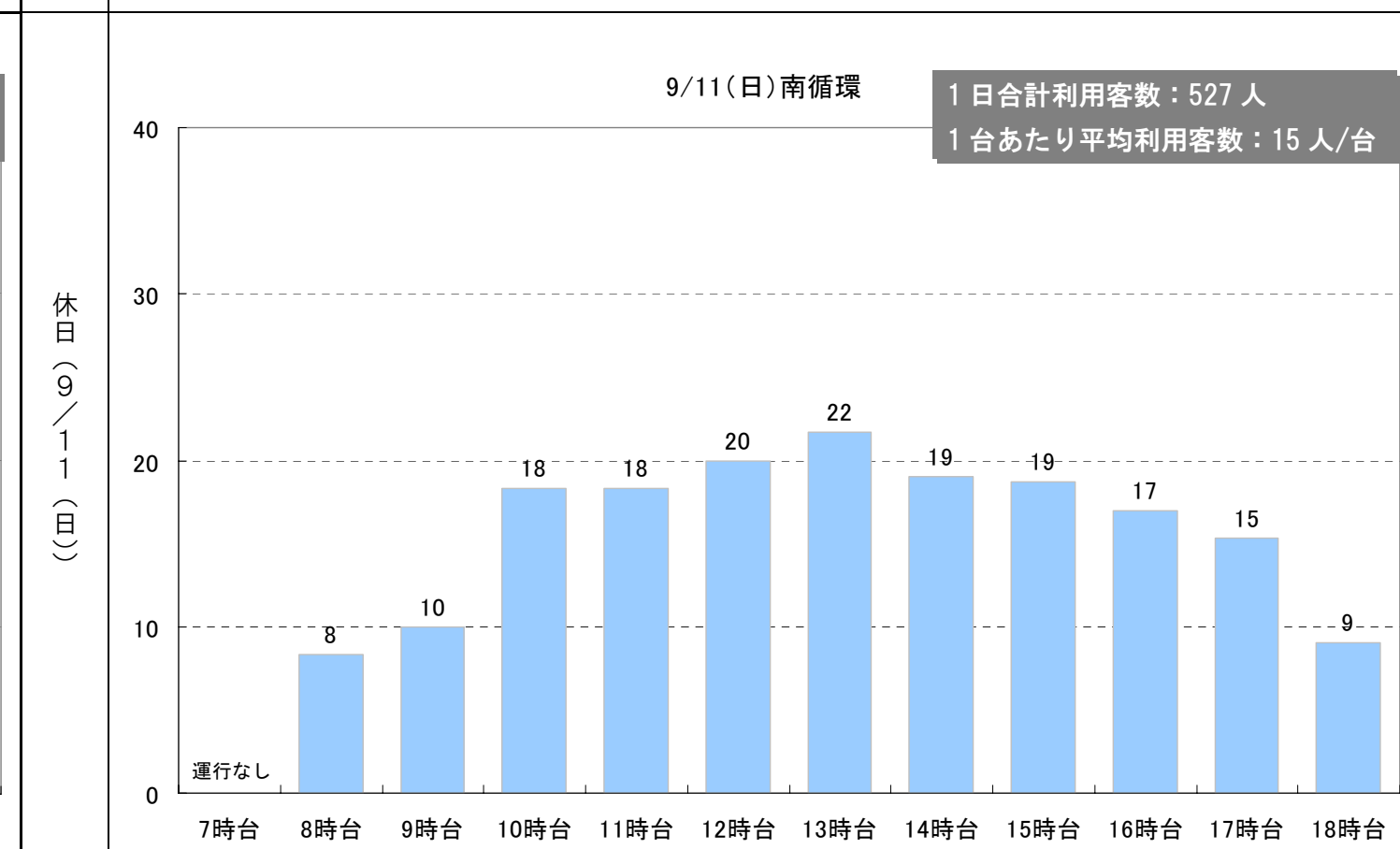
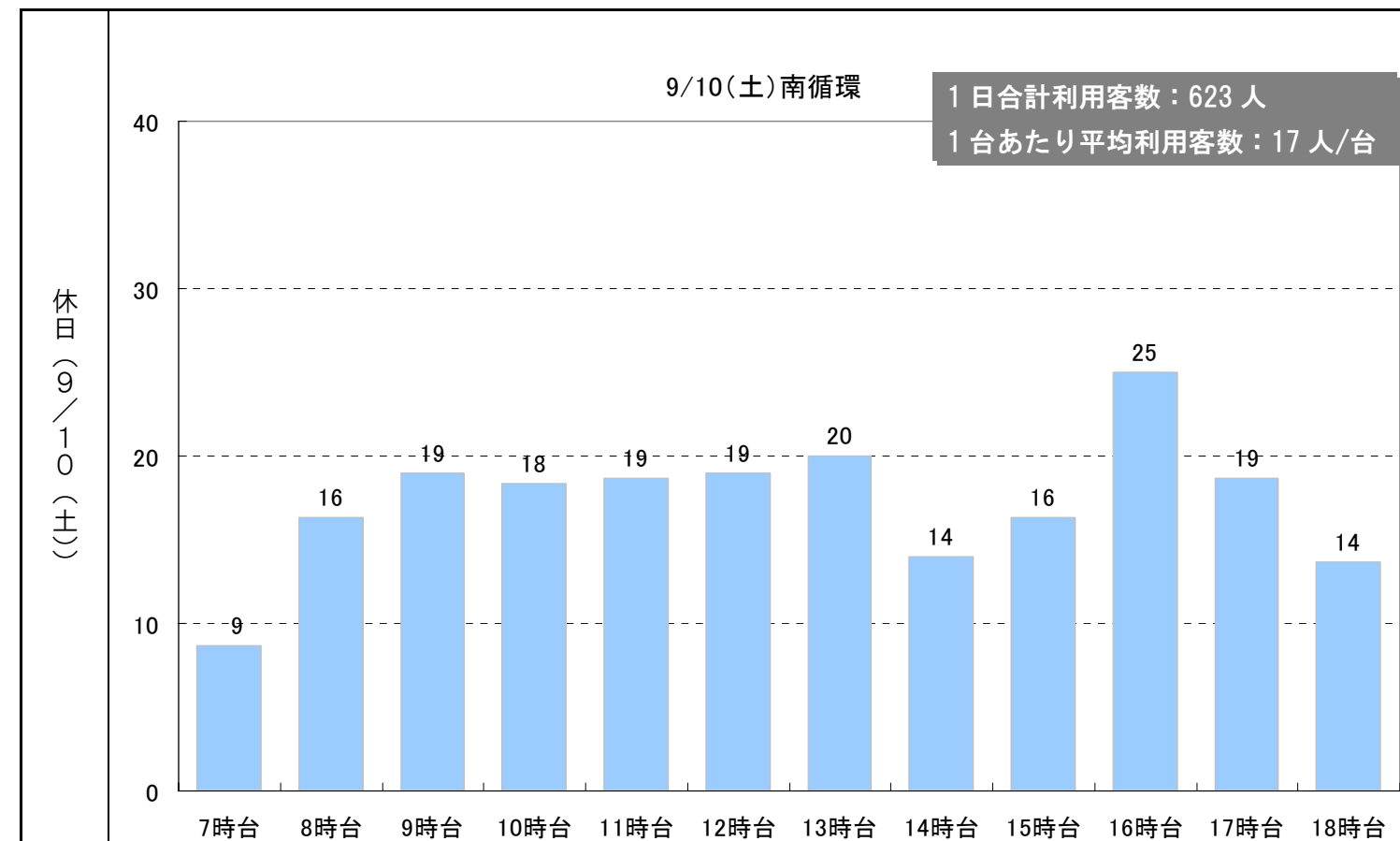
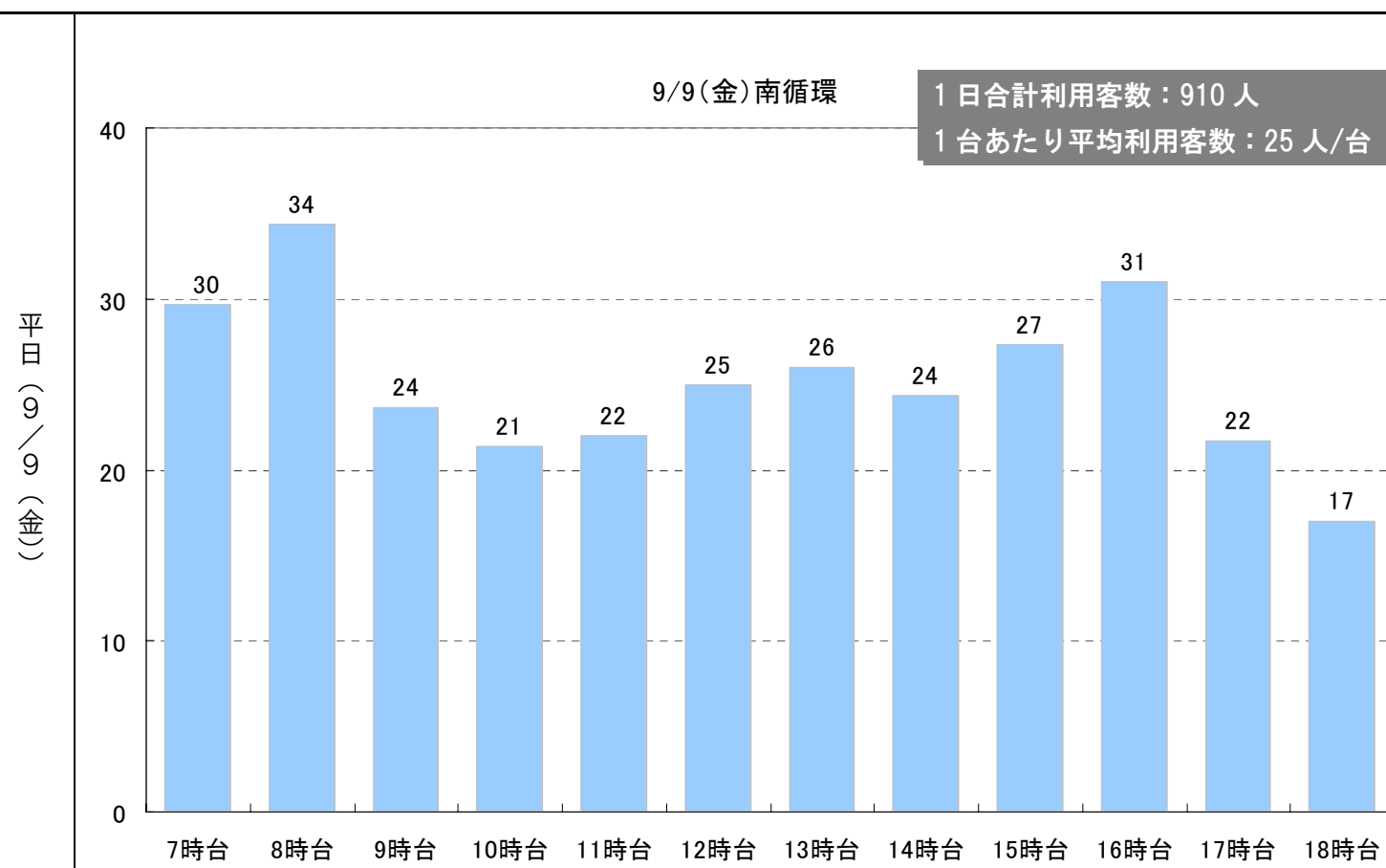
- ・ 7 時台、8 時台の利用客数が多く 30 人/台程度である。その後、20 人/台程度に減少するが、11 時台から徐々に増加していき、16 時台には 31 人/台になっている。
- ・ どの時間帯も 15 人/台以上の人が利用している。

【休日】

- ・ 土曜日は 7 時台が、日曜日は 8 時台、9 時台の利用客数が少ないが、その後は 20 人/台前後で推移している。

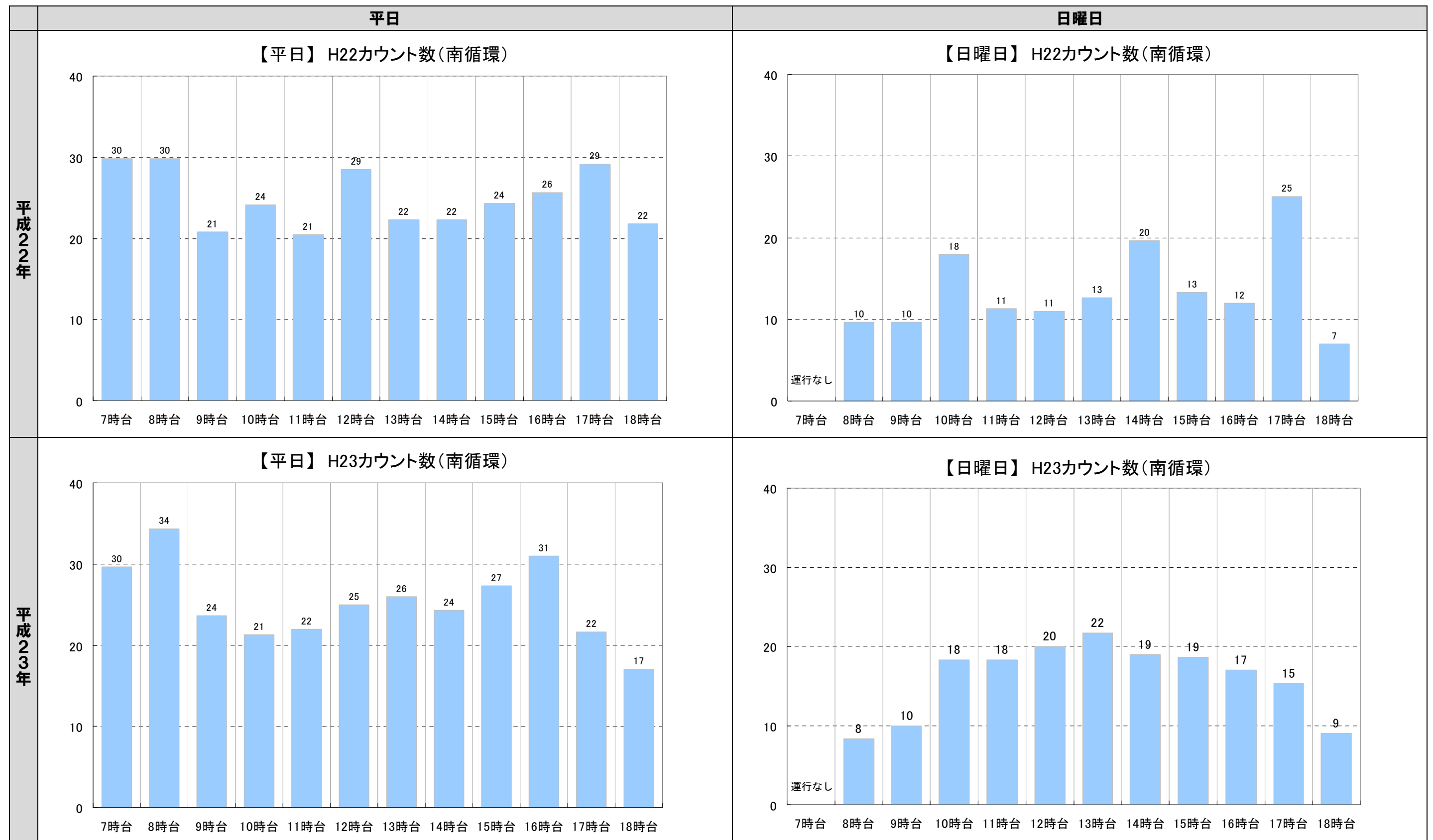
【平日と休日の比較】

- ・ 平日は、朝と夕方の利用客数が多くピークとなっているが、休日は朝と最終の時間帯は少ないものの 1 日を通して大きな変化がない。



○平成22年・平成23年調査時の平日・日曜日の時間帯別利用客数の比較【南循環】

- ・平成22年度のカウント調査時と、今年度の調査時の南循環の平日・日曜日の時間帯別利用客数を比較する。
- ・平日では、平成22年の調査時に比べて17時台、18時台の利用客数が特に減少している。
- ・日曜日では、平成22年の調査時は、時間帯により利用客数の増減が大きかったが、今年は20人/台前後で推移している。

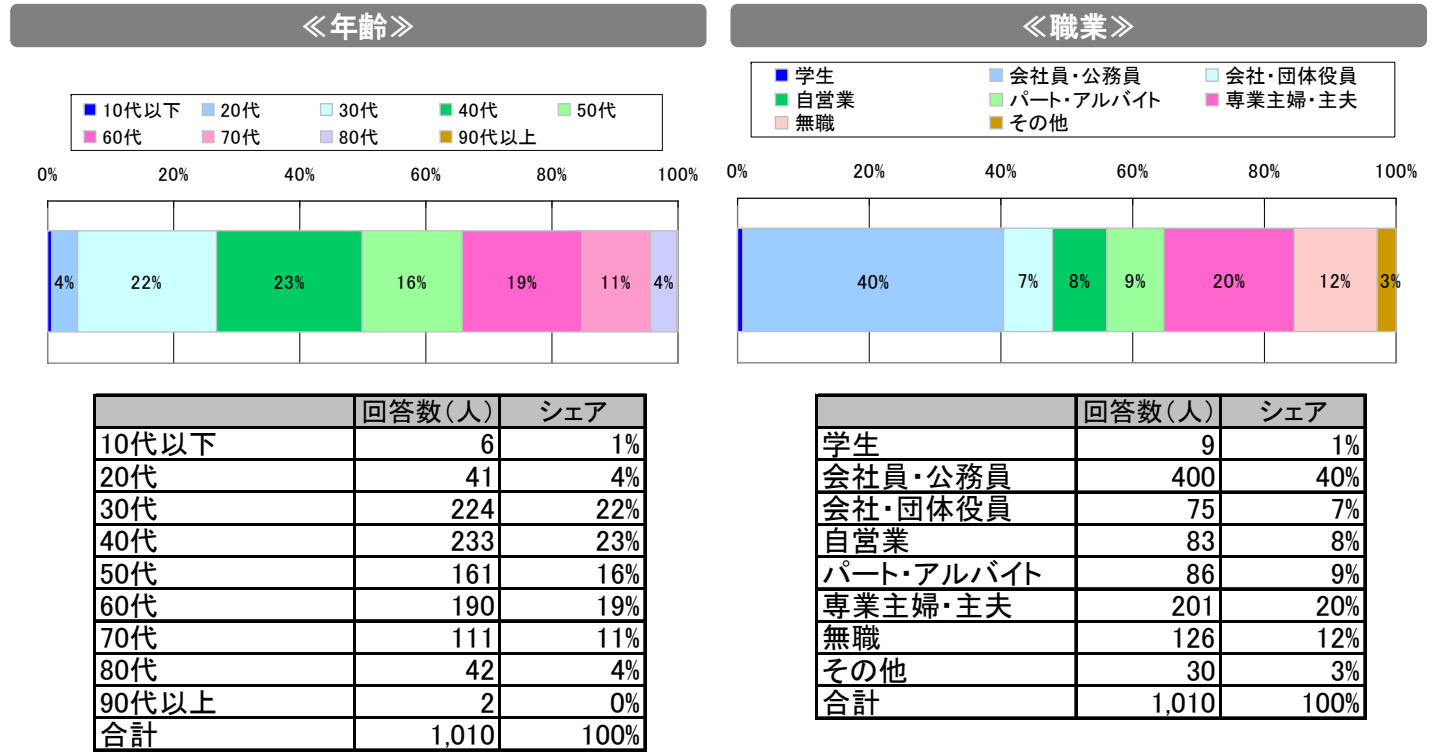
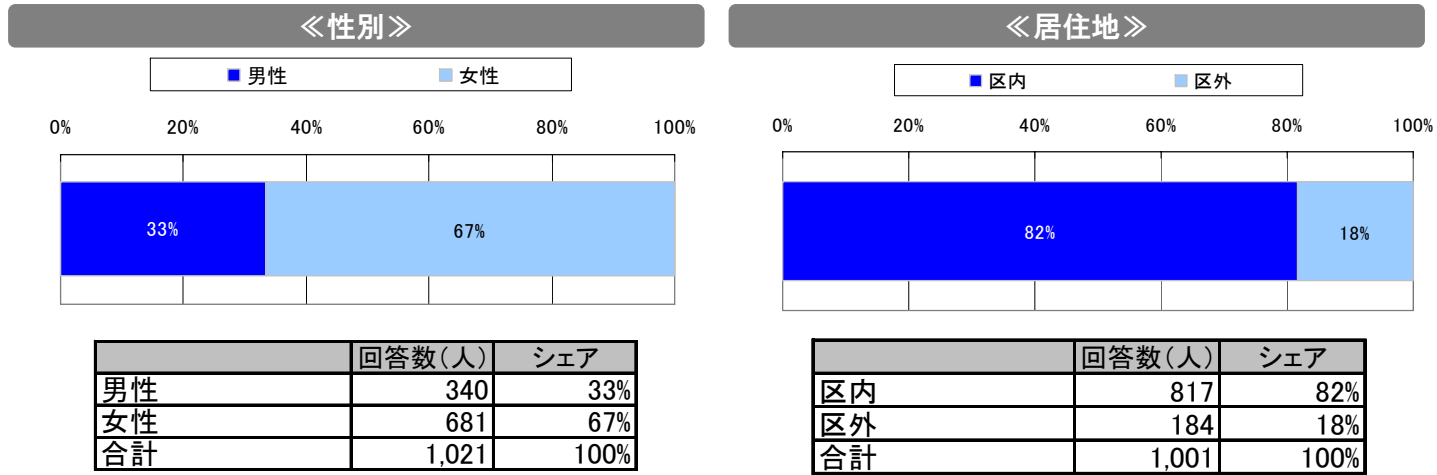


※平成22年の平日のカウント数は調査日2日間の平均

III-2. アンケート調査結果

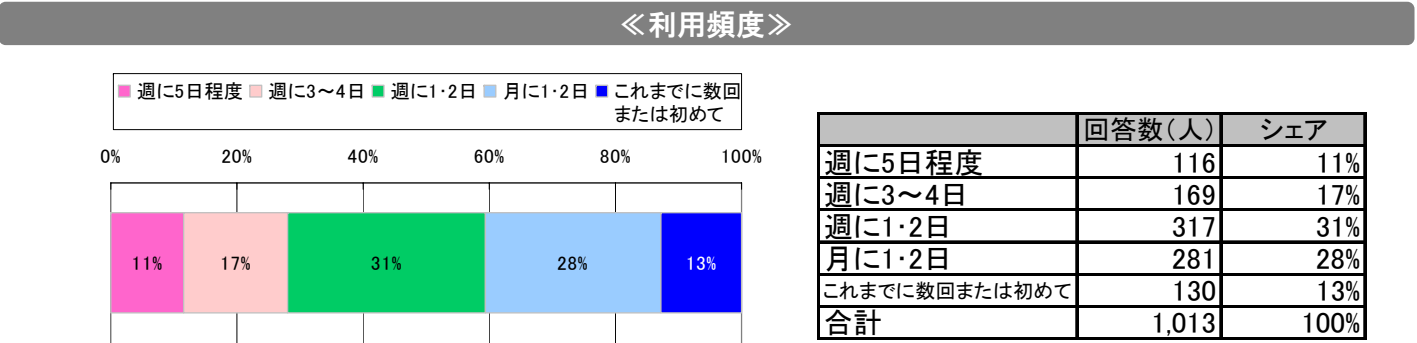
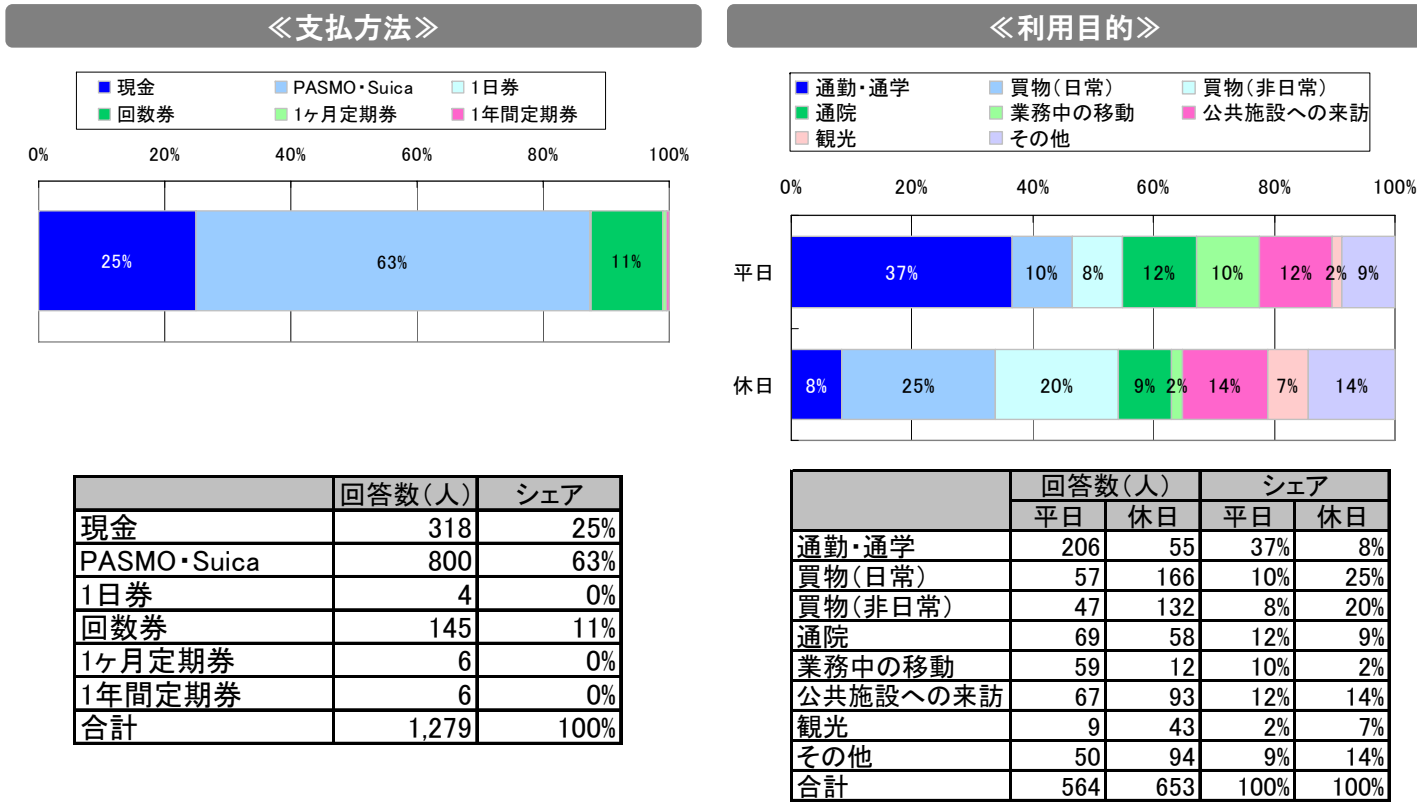
① 利用者の方の属性

- ・利用者の性別は、男性が約 30%、女性が約 70%である。
- ・年齢構成は、20 代以下の若年層は 5%程度と少なく、一方、60 代以上は約 35%を占めている。
- ・利用者の居住地は、中央区内居住者が約 80%と多くを占めている。
- ・職業をみると「会社員・公務員」が 40%と最も多く、次いで「専業主婦・主夫」が 20%である。



② 利用実態

- ・支払い方法は、「PASMO・Suica」の利用者が約 60%と最も多く、次いで、「現金」が 25%である。
- ・利用目的は、平日では「通勤・通学」が 40%程度と最も多い。休日では「買物」が多く、「買物（日常）」、「買物（非日常）」を合わせると 45%である。また、平日・休日ともに、導入目的の 1 つであった、「公共施設への来訪」のために利用している人が 10%程度存在している。
- ・利用頻度は、「週に 1・2 日」が 31%と最も多く、次いで「月に 1・2 日」が 28%であるが、「週に 1・2 日以上」利用している人が約 60%を占めており、日常的な交通手段として利用されている。

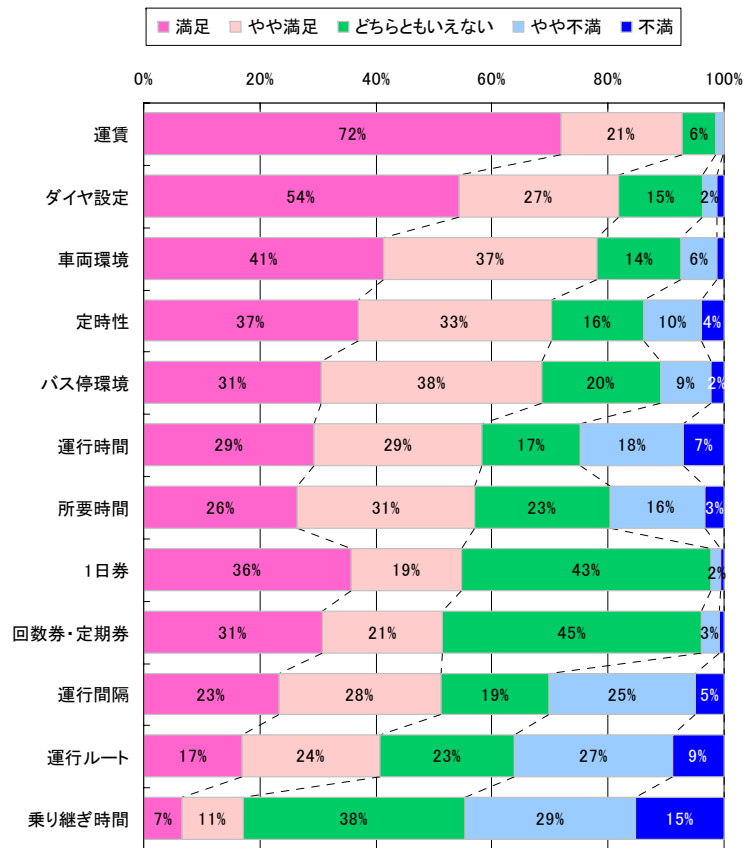


③ 運行仕様・運行環境等に対する満足度及び重要度

（１）運行仕様・運行環境に対する満足度

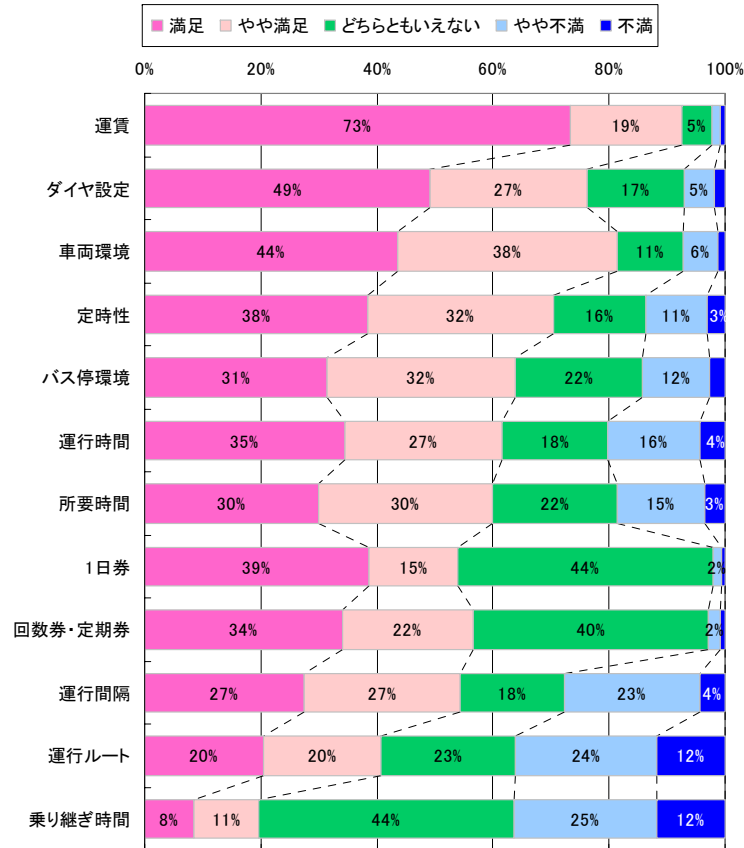
- ・「満足」「やや満足」と回答した割合をみると、「運行ルート」「乗り継ぎ時間」以外の項目については半数以上の人が満足と感じている。
- ・「運賃（100 円）」に対する満足度が 90%以上と最も高い一方で、「運行ルート」は約 40%、「乗り継ぎ時間」は 20%以下と満足度が低くなっている。
- ・平成 22 年調査時の満足度と比較すると、「ダイヤ設定」「バス停環境」については、「満足」「やや満足」と回答した割合が 5%程度増えているが、他の項目についてはほぼ横ばいか減少している。

《運行仕様・運行環境に対する満足度【H23】》



回答数(人)						
	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	合計
運賃	711	206	56	13	2	988
ダイヤ設定	536	270	144	23	13	986
車両環境	406	363	142	60	13	984
定時性	364	329	156	98	39	986
バス停環境	300	372	199	86	22	979
運行時間	288	285	167	175	69	984
所要時間	259	300	228	159	33	979
1日券	338	178	406	17	5	944
回数券・定期券	288	193	417	29	8	935
運行間隔	232	278	187	251	49	997
運行ルート	167	233	227	266	88	981
乗り継ぎ時間	62	101	361	279	145	948

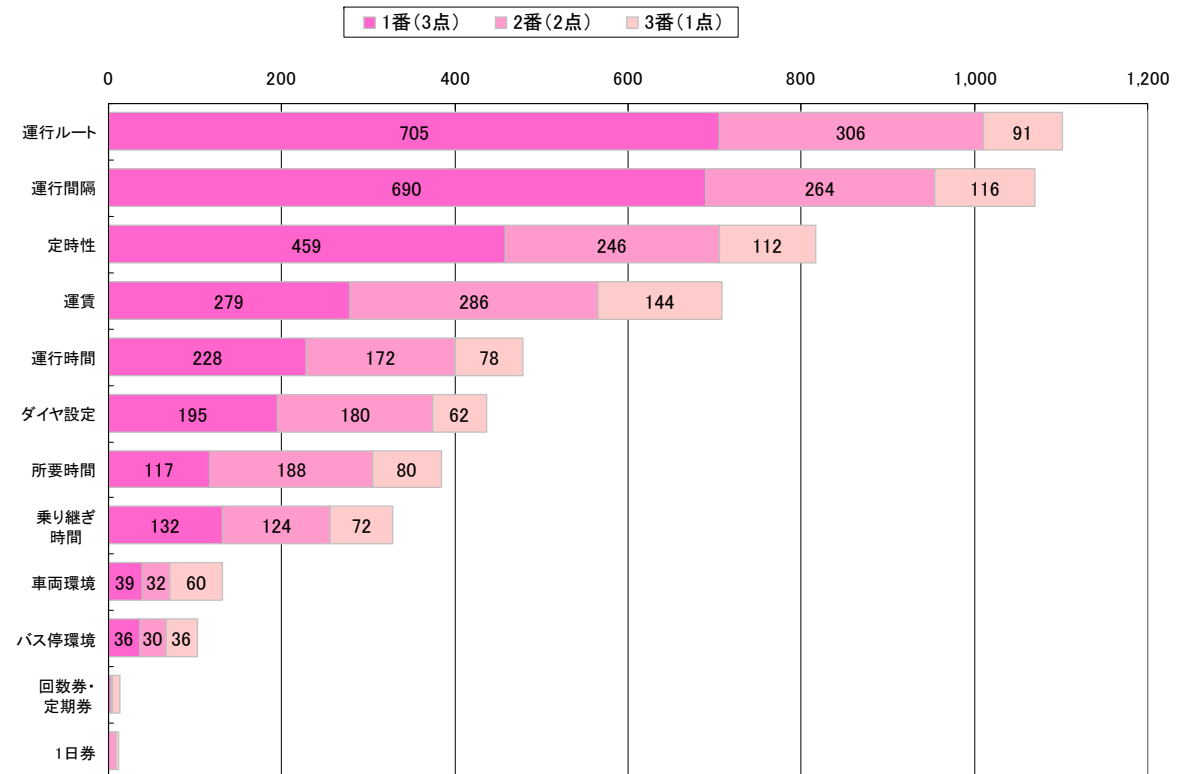
《運行仕様・運行環境に対する満足度【H22】》



回答数(人)						
	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	合計
運賃	728	191	50	15	8	992
ダイヤ設定	484	266	163	51	19	983
車両環境	425	367	111	57	13	973
定時性	375	315	154	104	30	978
バス停環境	305	315	212	113	26	971
運行時間	339	264	179	157	42	981
所要時間	294	294	213	148	34	983
1日券	355	141	405	14	5	920
回数券・定期券	310	204	368	20	7	909
運行間隔	271	265	179	230	43	988
運行ルート	200	199	227	237	116	979
乗り継ぎ時間	78	103	406	227	108	922

（２）運行仕様・運行環境に対する重要度

- ・運行仕様、運行環境に対する重要度を点数化し、その合計得点を比較する。
- ・「運行ルート」「運行間隔」が特に重要としている回答が多く、次いで「定時性」「運賃」となっている。
- ・一方、「車両環境」や「バス停環境」、「回数券・定期券」「1日券」の重要度は低い。



	1番(3点)	2番(2点)	3番(1点)	合計点
運行ルート	705	306	91	1,102
運行間隔	690	264	116	1,070
定時性	459	246	112	817
運賃	279	286	144	709
運行時間	228	172	78	478
ダイヤ設定	195	180	62	437
所要時間	117	188	80	385
乗り継ぎ時間	132	124	72	328
車両環境	39	32	60	131
バス停環境	36	30	36	102
回数券・定期券	3	2	8	13
1日券	0	8	4	12

重要度の得点 1番：3点 2番：2点 3番：1点

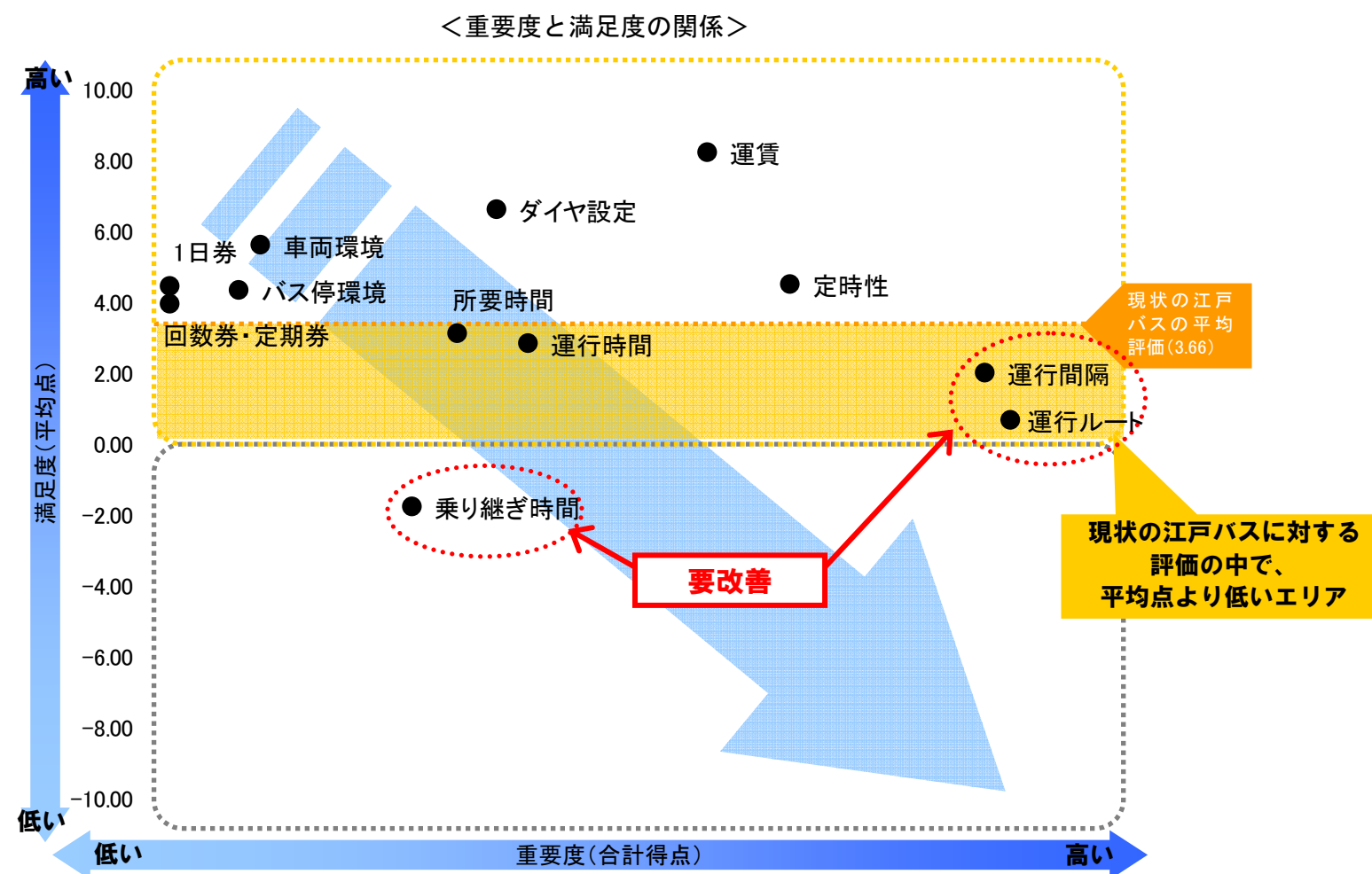
（３）運行仕様・運行環境に対する不満点・改善要望（自由回答）

- ・運行仕様・運行環境に対する不満点・改善要望は、重要度が最も高い「運行ルート」に対する意見が多く、次いで「運行時間」であった。
- ・「運行ルート」については、逆ルートを望む意見や銀座周辺や築地周辺へのルート延伸、南北ルートの統一といった意見が挙げられている。
- ・「運行時間」については、終発の時間をもっと遅くして欲しいとの意見が多かった。

(4) 重要度と満足度の関係

○重要度と満足度を得点化し、運行仕様・運行環境に対する満足度と重要度の関係を見る。

- ・満足度の平均点が、「乗り継ぎ時間」以外の全ての項目で「どちらでもない」に該当する0点よりも高い数値となっていることから、現状の江戸バスに対しては一定の評価がされていると考えられる。
- ・満足度の平均に対して、「運行間隔」「運行ルート」「運行時間」「所要時間」「乗り継ぎ時間」は、低い評価になっている。
- ・「運行間隔」「運行ルート」については、重要度が高いにもかかわらず満足度が平均以下であり、改善を検討する必要がある。
- ・「運賃」「定時性」は、重要度が高く、満足度も平均評価以上となっており、江戸バスの魅力の一つの要因になっていると考えられる。



※ 上記のグラフの得点は、下記の考え方で算出している。

【1】重要度（横軸）

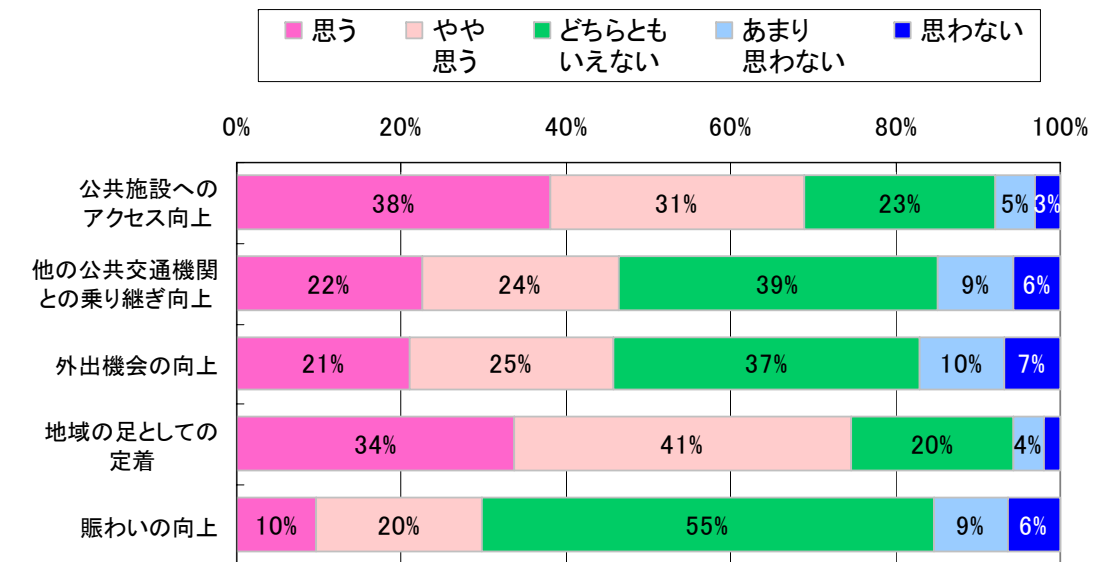
- ◎頂いたアンケート結果について、「1番＝3点」「2番＝2点」「3番＝1点」に換算し、項目ごとの合計得点を算出
- ◎合計12項目の合計得点から、全項目の平均得点（464点）を算出

【2】満足度（縦軸）

- ◎頂いたアンケート結果について、「満足＝10点」「やや満足＝5点」「どちらともいえない＝0点」「やや不満＝-5点」「不満＝-10点」に換算し、項目ごとの平均得点を算出

④ 江戸バス導入時の基本方針の達成度

- ・江戸バス導入時の5つの基本方針の達成状況を評価するため、江戸バス導入後の変化を質問した。
- ・「地域の足としての定着」「公共施設へのアクセス性向上」については、70%程度の人が、江戸バスの導入によって向上したと回答している。
- ・「他の公共交通機関との乗り継ぎ向上」「外出機会の向上」については半数程度の人が向上したとしているが、「賑わいの向上」については向上したとの回答が30%程度にとどまっており、今後の課題である。

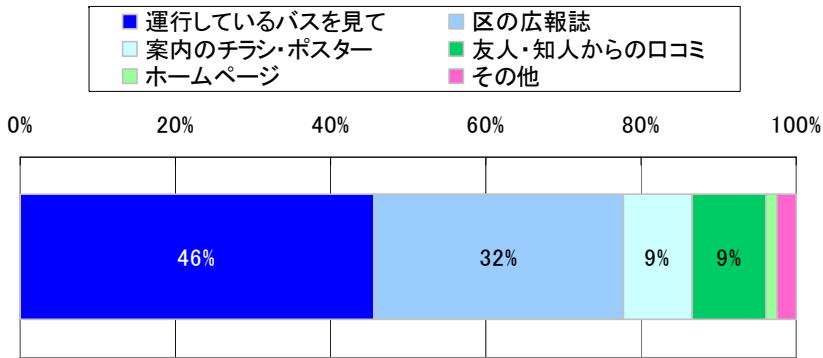


	回答数(人)					合計
	思う	やや思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	
公共施設へのアクセス向上	357	289	217	44	29	936
他の公共交通機関との乗り継ぎ向上	207	220	357	86	52	922
外出機会の向上	194	227	342	93	63	919
地域の足としての定着	315	383	184	35	18	935
賑わいの向上	87	184	501	83	57	912

	シェア					合計
	思う	やや思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	
公共施設へのアクセス向上	38%	31%	23%	5%	3%	100%
他の公共交通機関との乗り継ぎ向上	22%	24%	39%	9%	6%	100%
外出機会の向上	21%	25%	37%	10%	7%	100%
地域の足としての定着	34%	41%	20%	4%	2%	100%
賑わいの向上	10%	20%	55%	9%	6%	100%

⑤ 江戸バスを知ったきっかけ

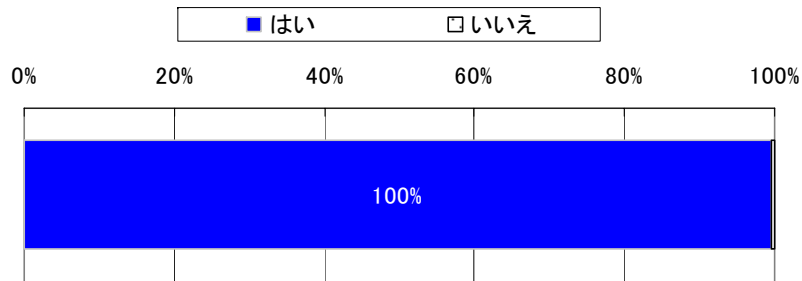
・「運行しているバスを見て」江戸バスのことを知ったと答えた人が 46%と最も多く、次いで「区の広報誌」が32%である。



	回答数(人)	シェア
運行しているバスを見て	440	46%
区の広報誌	312	32%
案内のチラシ・ポスター	86	9%
友人・知人からの口コミ	91	9%
ホームページ	15	2%
その他	23	2%
合計	967	100%

⑥ 今後の利用意向

・今後の利用意向をみると、ほぼ全ての人がこれからも利用したいと回答している。

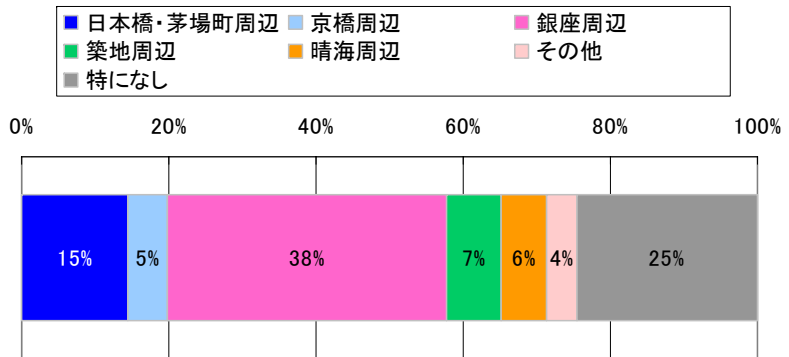


	回答数(人)	シェア
はい	1003	100%
いいえ	4	0%
合計	1007	100%

⑦ 江戸バスを運行して欲しい地区

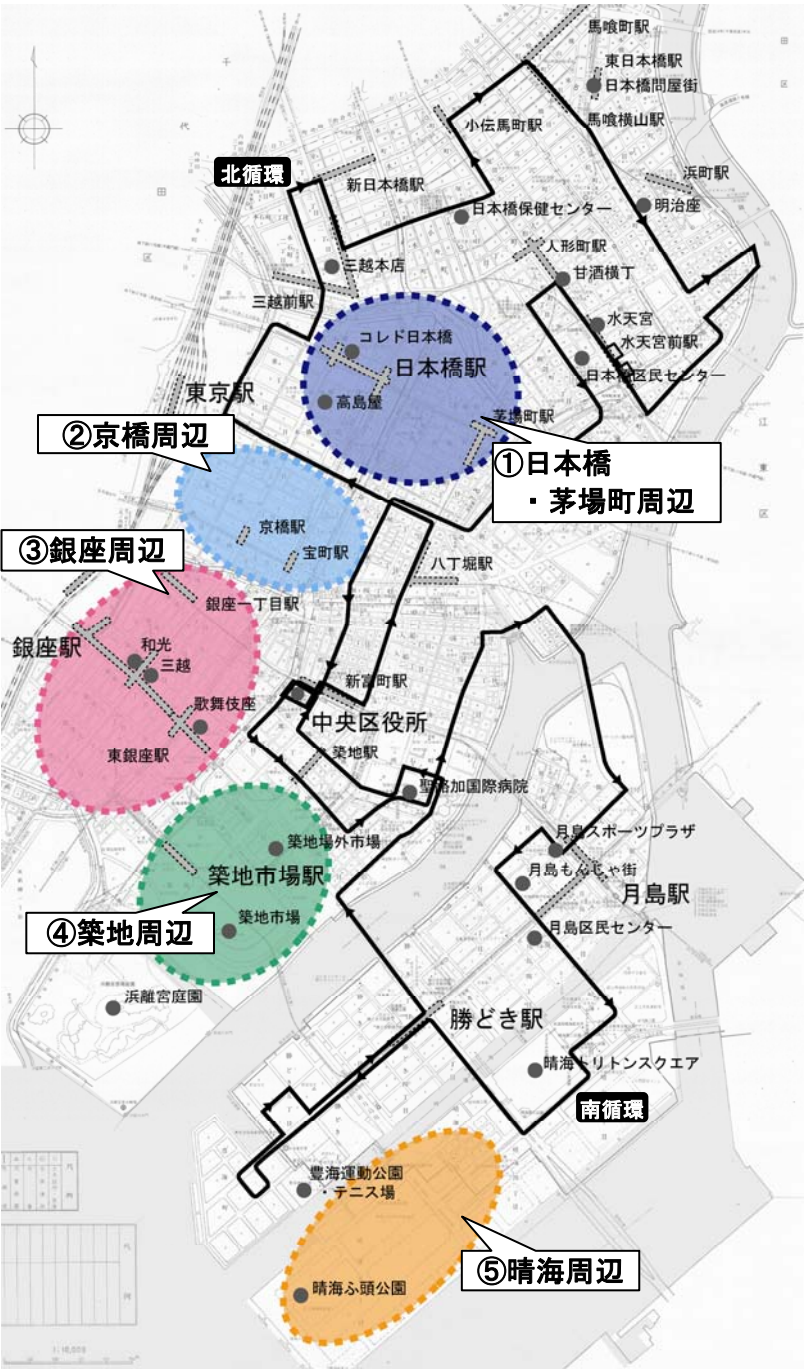
(1) 運行して欲しい地区

・江戸バスに運行してほしい地区として、「銀座周辺」と答えた方が最も多く、約 40%を占めている。次いで、「日本橋・茅場町周辺」が15%であった。



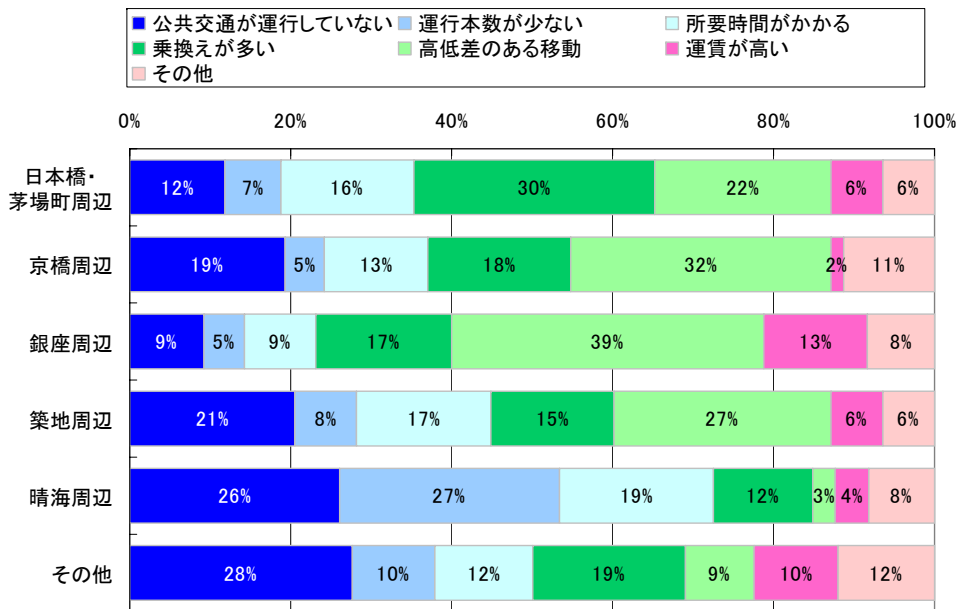
	回答数(人)	シェア
日本橋・茅場町周辺	132	15%
京橋周辺	48	5%
銀座周辺	346	38%
築地周辺	67	7%
晴海周辺	56	6%
その他	37	4%
特になし	224	25%
合計	910	100%

<対象地区>



（２）運行してほしい地区別の来訪が不便な理由

・江戸バスに運行してほしい地区別にその理由をみると、「京橋周辺」「銀座周辺」「築地周辺」では「高低差のある移動」が最も多い理由として挙げられている。一方、「日本橋・茅場町周辺」では「乗換えが多い」、「晴海周辺」では「運行本数が少ない」「公共交通が運行していない」といった理由が多くなっている。



回答者数(人)

	公共交通が運行していない	運行本数が少ない	所要時間がかかる	乗換えが多い	高低差のある移動	運賃が高い	その他
日本橋・茅場町周辺	20	12	28	51	37	11	11
京橋周辺	12	3	8	11	20	1	7
銀座周辺	38	21	37	70	161	53	35
築地周辺	16	6	13	12	21	5	5
晴海周辺	19	20	14	9	2	3	6
その他	16	6	7	11	5	6	7

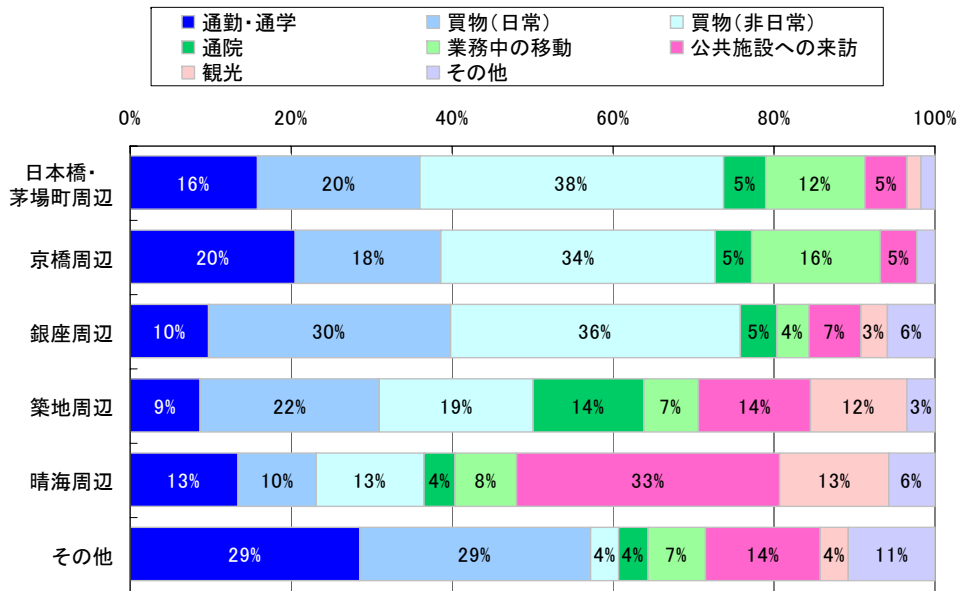
シェア

	公共交通が運行していない	運行本数が少ない	所要時間がかかる	乗換えが多い	高低差のある移動	運賃が高い	その他
日本橋・茅場町周辺	12%	7%	16%	30%	22%	6%	6%
京橋周辺	19%	5%	13%	18%	32%	2%	11%
銀座周辺	9%	5%	9%	17%	39%	13%	8%
築地周辺	21%	8%	17%	15%	27%	6%	6%
晴海周辺	26%	27%	19%	12%	3%	4%	8%
その他	28%	10%	12%	19%	9%	10%	12%

（３）運行してほしい地区別の利用目的

・江戸バスが運行した場合の利用目的は、「日本橋・茅場町周辺」「京橋周辺」「銀座周辺」では「買物（非日常）」が35％程度と高い割合を占めているのに対して、「築地周辺」は「買物（日常）」、「晴海周辺」は「公共施設への来訪」が高くなっている。

・「業務中の移動」については、「日本橋・茅場町周辺」「京橋周辺」での割合が他の地区よりも高く、また、「観光」については「築地周辺」「晴海周辺」が高くなっている。



回答者数(人)

	通勤・通学	買物(日常)	買物(非日常)	通院	業務中の移動	公共施設への来訪	観光	その他
日本橋・茅場町周辺	18	23	43	6	14	6	2	2
京橋周辺	9	8	15	2	7	2	0	1
銀座周辺	30	92	110	14	12	20	10	18
築地周辺	5	13	11	8	4	8	7	2
晴海周辺	7	5	7	2	4	17	7	3
その他	8	8	1	1	2	4	1	3

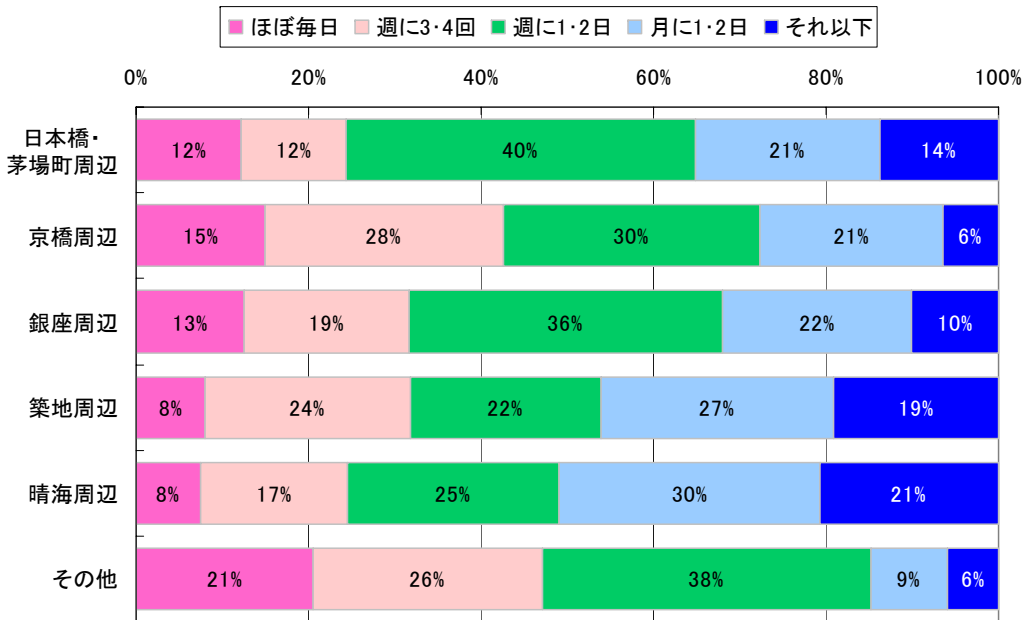
シェア

	通勤・通学	買物(日常)	買物(非日常)	通院	業務中の移動	公共施設への来訪	観光	その他
日本橋・茅場町周辺	16%	20%	38%	5%	12%	5%	2%	2%
京橋周辺	20%	18%	34%	5%	16%	5%	0%	2%
銀座周辺	10%	30%	36%	5%	4%	7%	3%	6%
築地周辺	9%	22%	19%	14%	7%	14%	12%	3%
晴海周辺	13%	10%	13%	4%	8%	33%	13%	6%
その他	29%	29%	4%	4%	7%	14%	4%	11%

(4) 運行してほしい地区別の利用頻度

- ・江戸バスが運行した場合の利用頻度は、平日の場合どの地区においても、「週に1・2日」以上利用するという回答が半数以上を占めている。休日の場合も、「月に1・2回」以上の利用が60%以上を占めており、定期的な利用が見込まれる。
- ・特に休日の「銀座周辺」の利用頻度については、「ほぼ毎週」利用するとの回答が36%と他の地区に比べて高く、休日の利用が多く見込まれる。

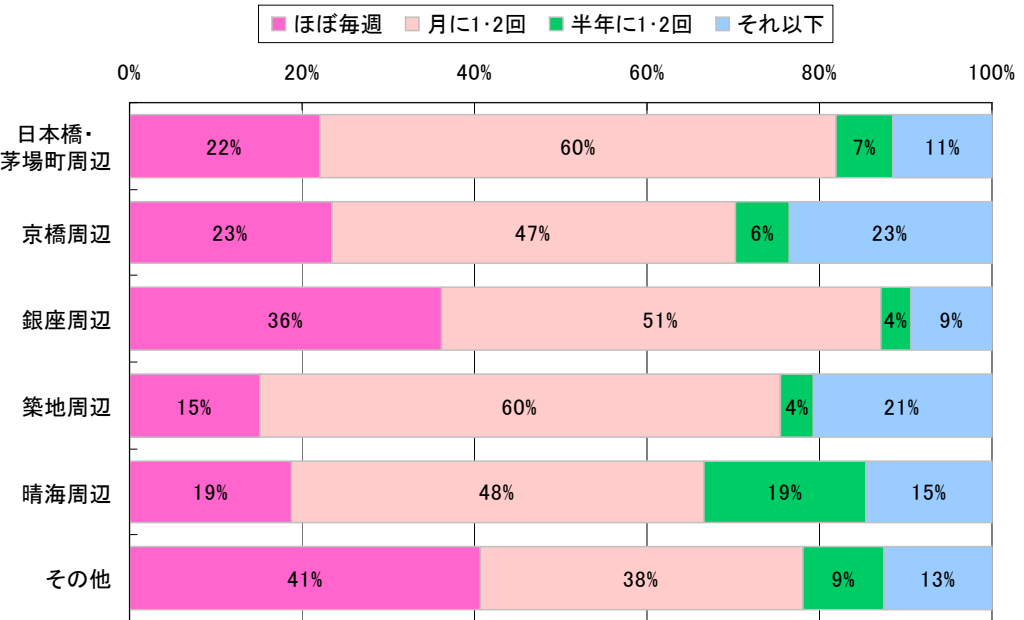
【平日】



回答者数(人)					
	ほぼ毎日	週に3・4回	週に1・2回	月に1・2回	それ以下
日本橋・茅場町周辺	16	16	53	28	18
京橋周辺	7	13	14	10	3
銀座周辺	42	64	122	73	34
築地周辺	5	15	14	17	12
晴海周辺	4	9	13	16	11
その他	7	9	13	3	2

シェア					
	ほぼ毎日	週に3・4回	週に1・2回	月に1・2回	それ以下
日本橋・茅場町周辺	12%	12%	40%	21%	14%
京橋周辺	15%	28%	30%	21%	6%
銀座周辺	13%	19%	36%	22%	10%
築地周辺	8%	24%	22%	27%	19%
晴海周辺	8%	17%	25%	30%	21%
その他	21%	26%	38%	9%	6%

【休日】



回答者数(人)				
	ほぼ毎週	月に1・2回	半年に1・2回	それ以下
日本橋・茅場町周辺	27	73	8	14
京橋周辺	11	22	3	11
銀座周辺	112	158	11	29
築地周辺	8	32	2	11
晴海周辺	9	23	9	7
その他	13	12	3	4

シェア				
	ほぼ毎週	月に1・2回	半年に1・2回	それ以下
日本橋・茅場町周辺	22%	60%	7%	11%
京橋周辺	23%	47%	6%	23%
銀座周辺	36%	51%	4%	9%
築地周辺	15%	60%	4%	21%
晴海周辺	19%	48%	19%	15%
その他	41%	38%	9%	13%